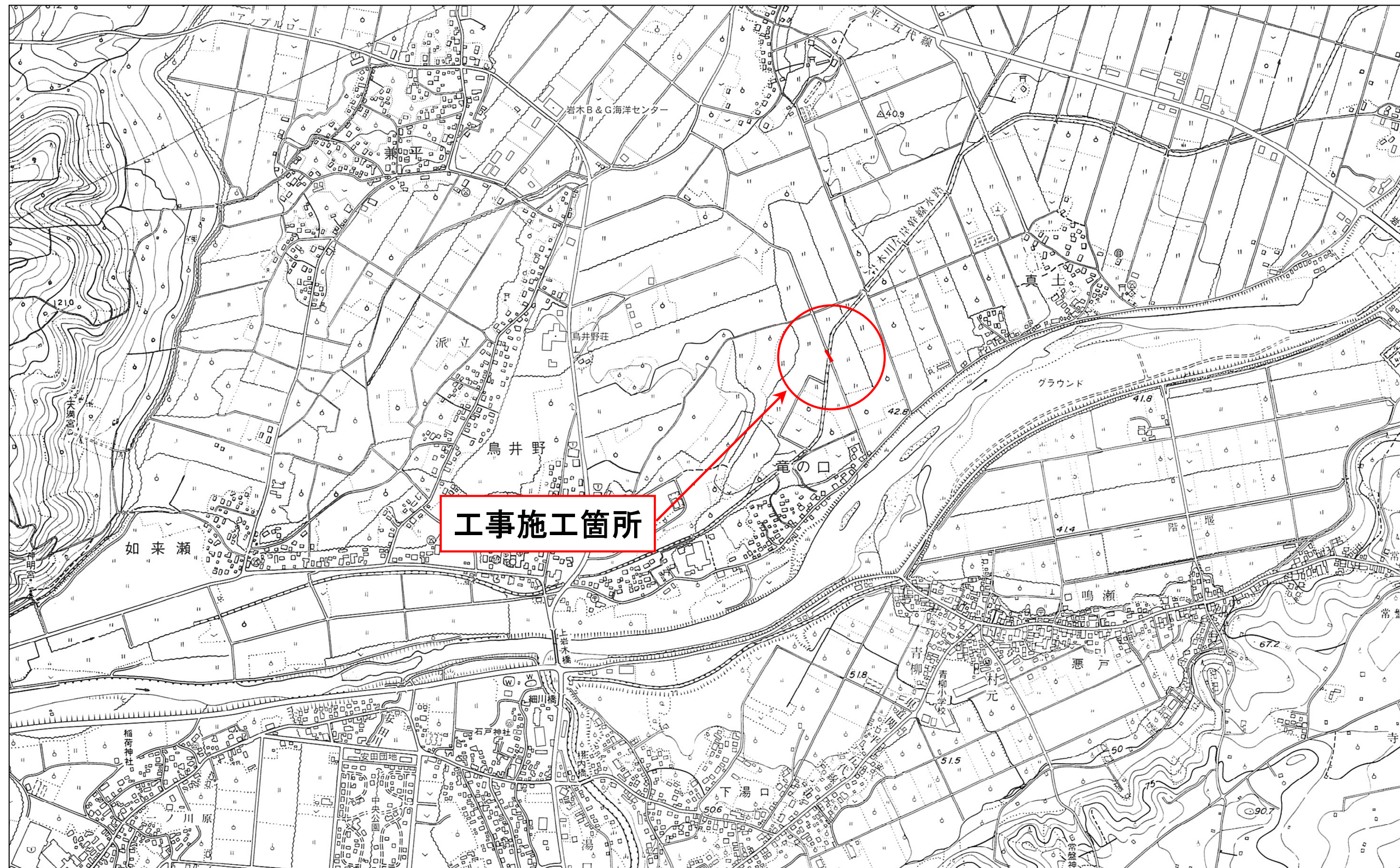
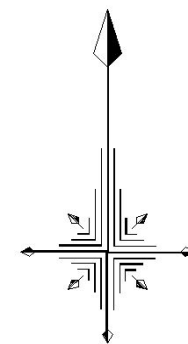


位置図

工事名: 令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事

S = 1 : 10,000

弘前市



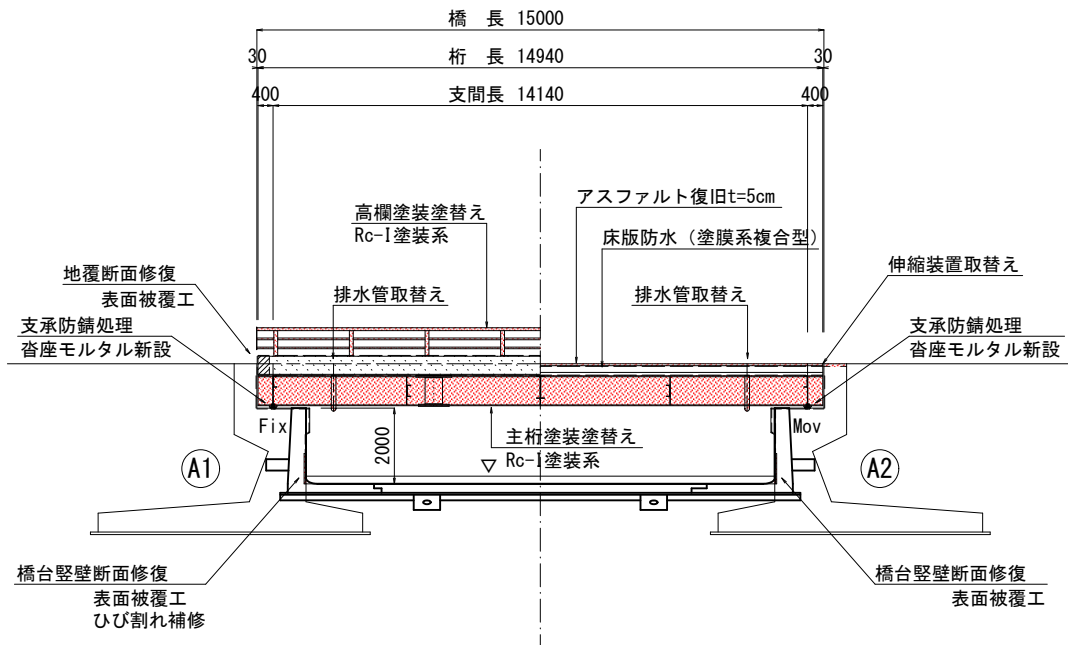
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんばい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	補修対策工計画一般図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

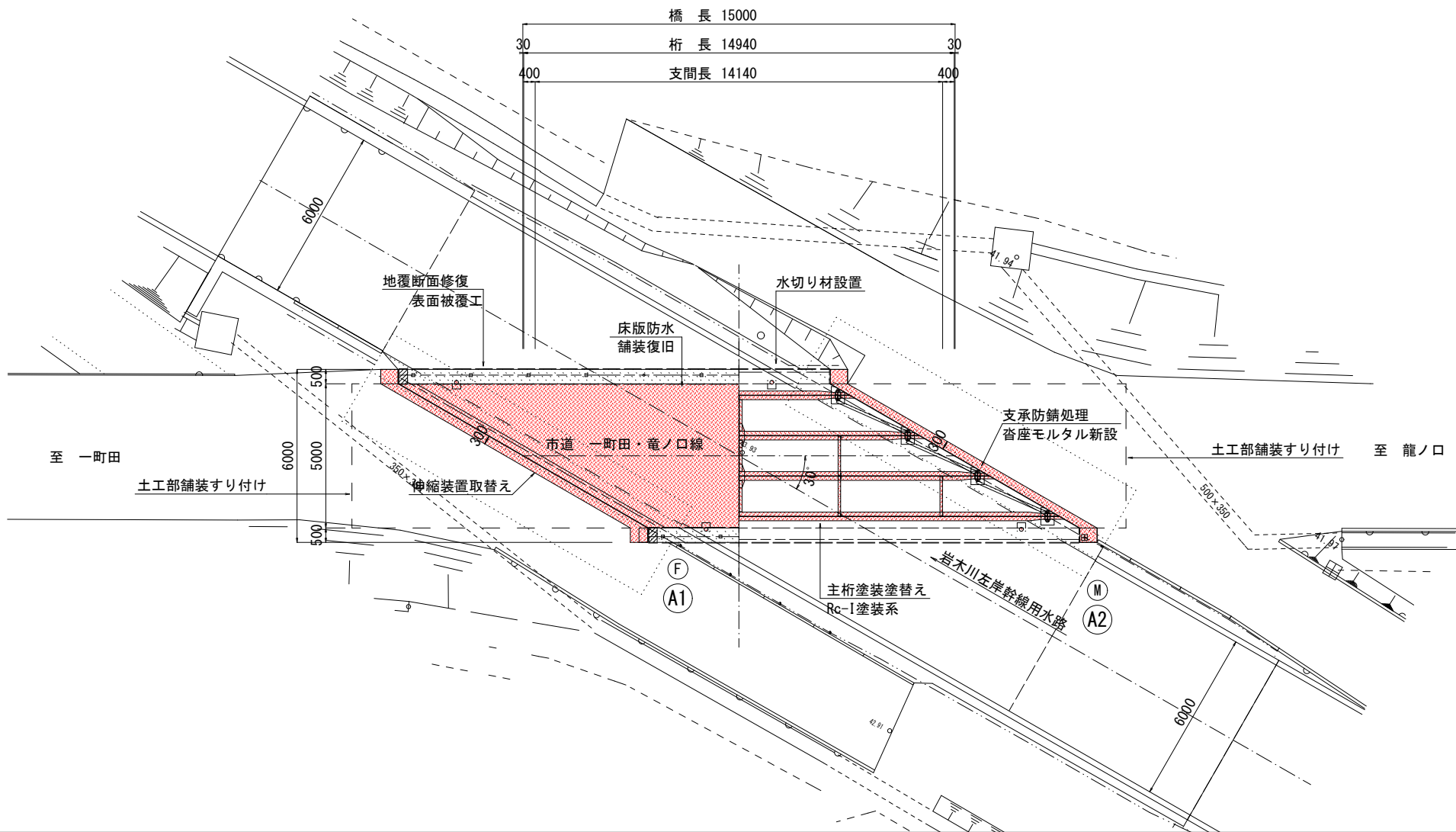
※（ ）内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんばい5号橋 補修対策工計画一般図

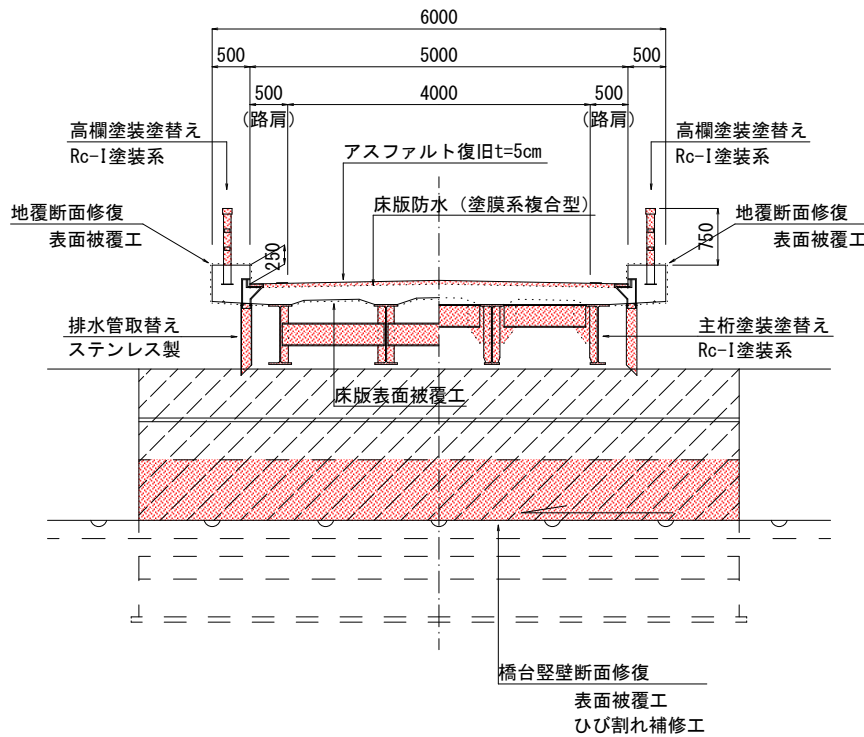
側 面 図 S=1/100 (200)



平 面 図 S=1/100 (200)



断 面 図 S=1/50 (100)



橋 梁 補 修 計 画 一 覧 表

部 材 名	補 修 対 策	対 策 工 法	備 考
高 欄	橋梁塗装工	Rc-I塗装系 プラスト工法	既存塗膜鉛含有を想定
地 覆	表面被覆工 断面修復工	浸透性保護塗装 左官工法	高分子系 ポリマーセメントモルタル
伸縮装置	伸縮継手工 (非排水型)	鋼製ジョイント 橋台地覆立上げ	2次止水材付き 地覆カバー付き
床 版 (橋面)	橋面防水工 舗装復旧t=5cm	複合型塗膜系 改質アスファルト	床版防水に伴う打換え
床 版 (下面)	表面被覆工 断面修復工 排水施設工	浸透性保護塗装 左官工法 水切り材設置	高分子系 ポリマーセメントモルタル 材質：軟質PVC
主 桁 中間横桁 端横桁	橋梁塗装工	Rc-I塗装系 プラスト工法	既存塗膜鉛含有 板張り防護 2重シート養生
排水装置	排水施設工	排水管取替え	ステンレス製仕様
土工部舗装	舗装復旧t=5cm	⑤再生密粒度As (13F)	
支 承	支承補修工	支承防錆処理	「支承の若返り工法」 ふっ素仕上げ
沓座モルタル	沓座モルタル補修工	モルタル新設	無収縮モルタル 塗装鉄筋配置有
橋 台	表面被覆工	浸透性保護塗装	高分子系
断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
ひび割れ補修工	注入工法	塗布型 (A1橋台)	
転落防止柵 撤去・新設	格子パイプ柵新設		地覆立上げに伴う A2橋台上流側

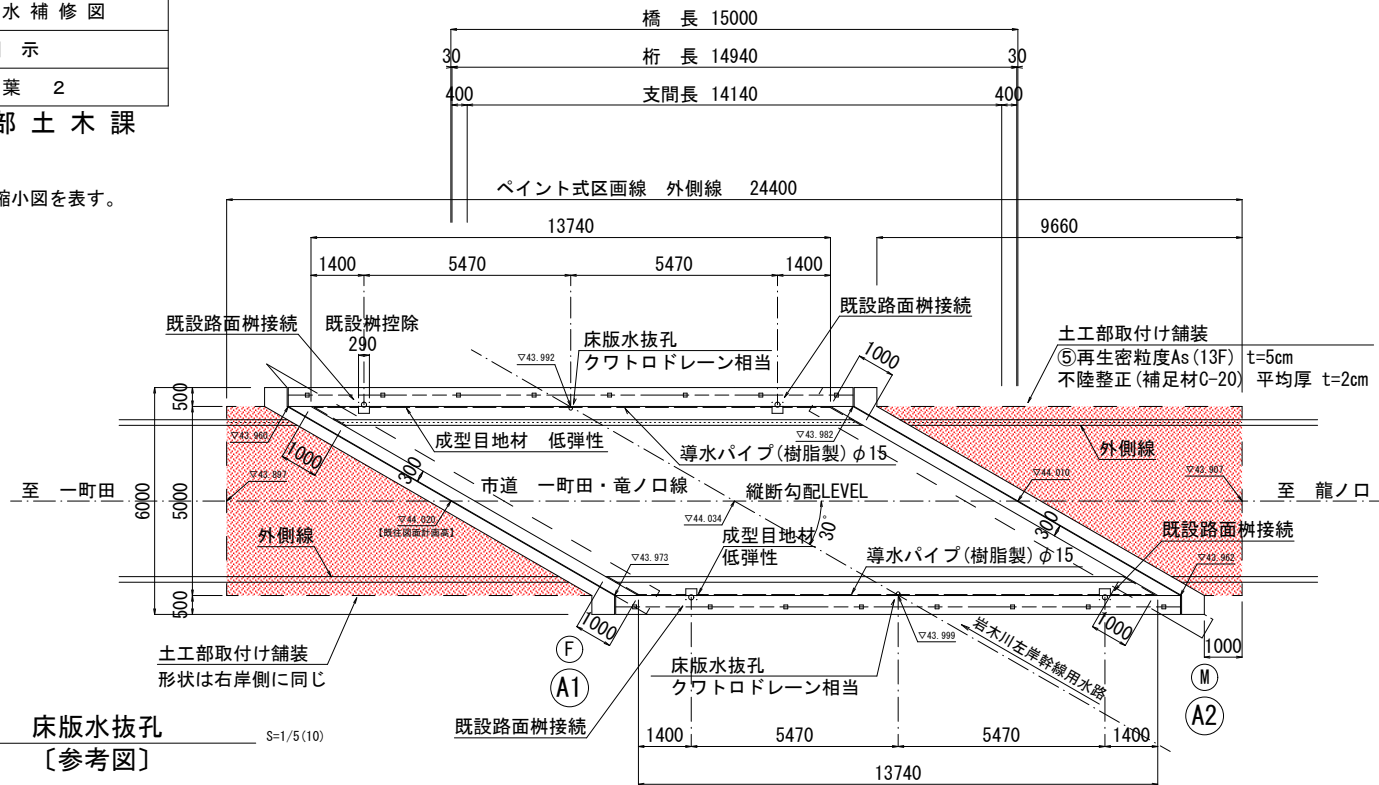
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	床 版 防 水 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 2

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

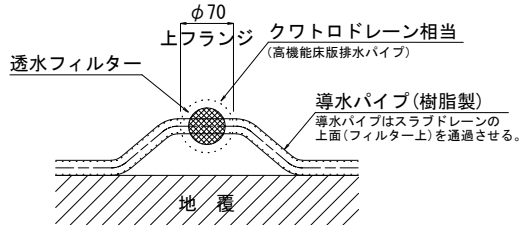
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 床版防水補修図

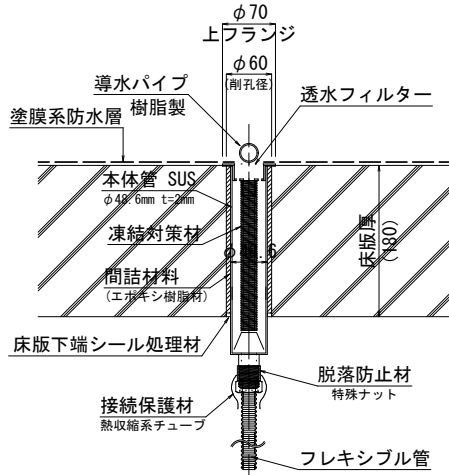
平 面 図 S=1/100 (200)



平面図



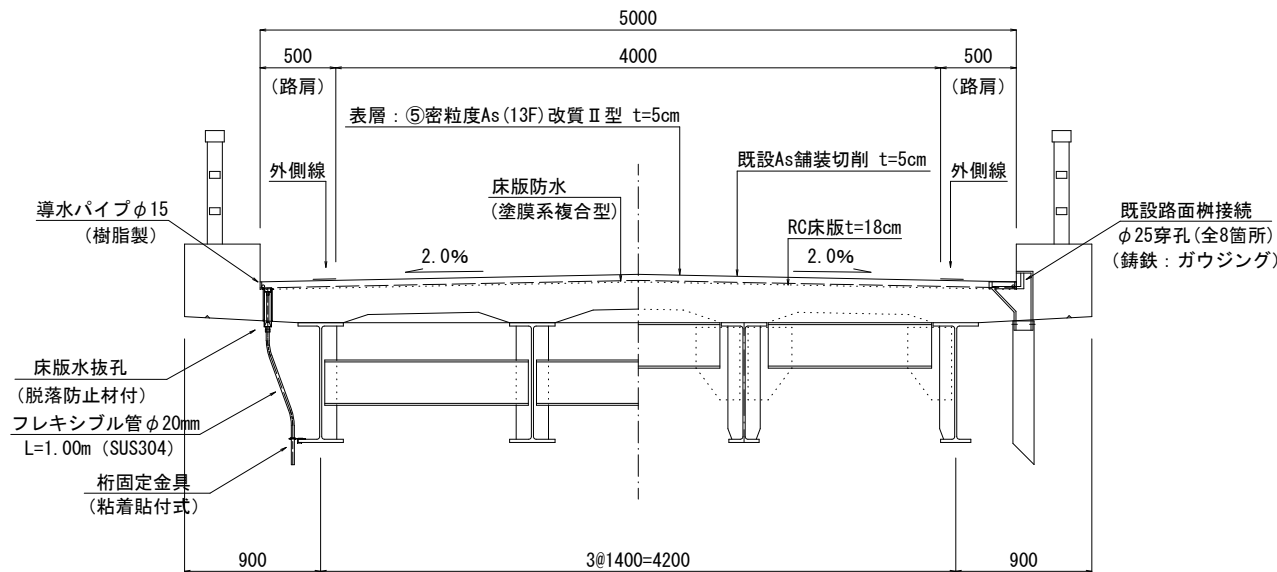
断面図



〔留意事項〕クワトロドレーン相当設置

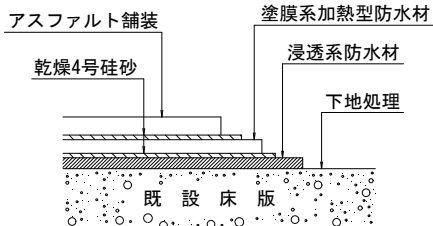
- 設置位置は削孔により内部鉄筋を切断しないよう探査調査の上決定すること。
- 本体の床版下端には間詰シール材漏れ防止のためシールテープを設置すること。
なお床版厚は推定値のため削孔後に厚さを確認しシールテープの位置を設定する。
- 本体セット後の削孔内は防水対策としてエポキシ樹脂によるシール処理を施すこと。
- 防水層は本体の上面フランジが隠れるように施工し透水フィルター部分のみ露出させる。
- 導水パイプは透水フィルター上を通るようにセットする。
- フレキシブル管は「極度のたるみ」がないよう設置すること。

断 面 図 S=1/25 (50)



床版防水層詳細図

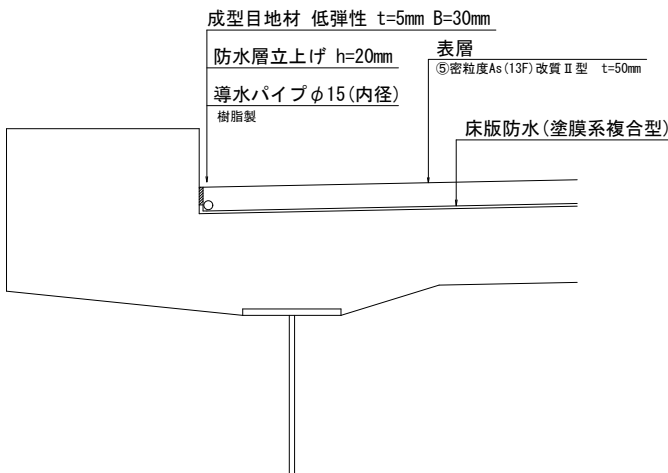
〔塗膜系複合型〕



〔留意事項〕床版防水

- 既設舗装版切削後の回転ビット跡の凹凸は下地処理 (不陸整正) を行い平滑を確保する。
- 切削後に床版コンクリート上面に脆弱部・ひび割れ等の劣化部を確認した場合は発注者と対策の要否及び対策工法を協議し、必要な場合は補修を行う。
- 防水層の端部 (縦断方向) は立ち上げを行い成型目地材を設置する。

床版防水端部詳細図

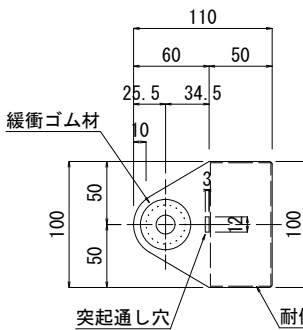


※図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

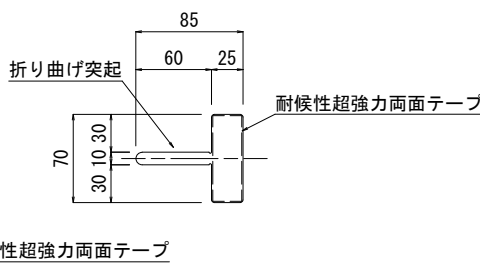
桁固定金具詳細図 S=1/3 (6)

〔参考図〕

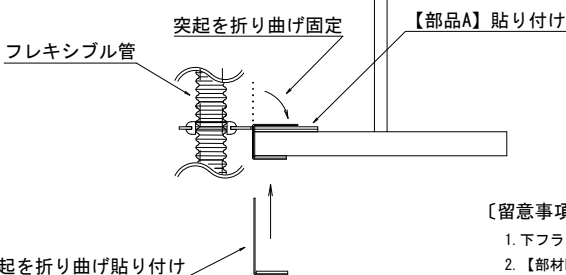
【部品A SUS304 PL-2.0】



【部品B SUS304 PL-0.8】



【下フランジ取付け図】



【部品B】突起を折り曲げ貼り付け

【桁固定金具取付け手順】

- ①—下フランジ上面に【部品A】を貼り付ける。
- ②—突起を90° 折り曲げた【部品B】をフランジ下から通して貼り付ける。
- ③—【部品B】の突起を折り曲げて固定する。

〔留意事項〕桁固定金具取付け

1. 下フランジの接着面は付着物・汚れを除去し乾燥状態を確保する。
2. 【部材B】の折り曲げ突起が下フランジに触れないよう取付け位置を設定する。
3. 接着力が強力なため取付け位置は排水位置にズレがないか十分確認すること。
4. 最終接着力が発現する72時間後まで触れないよう養生を行う。

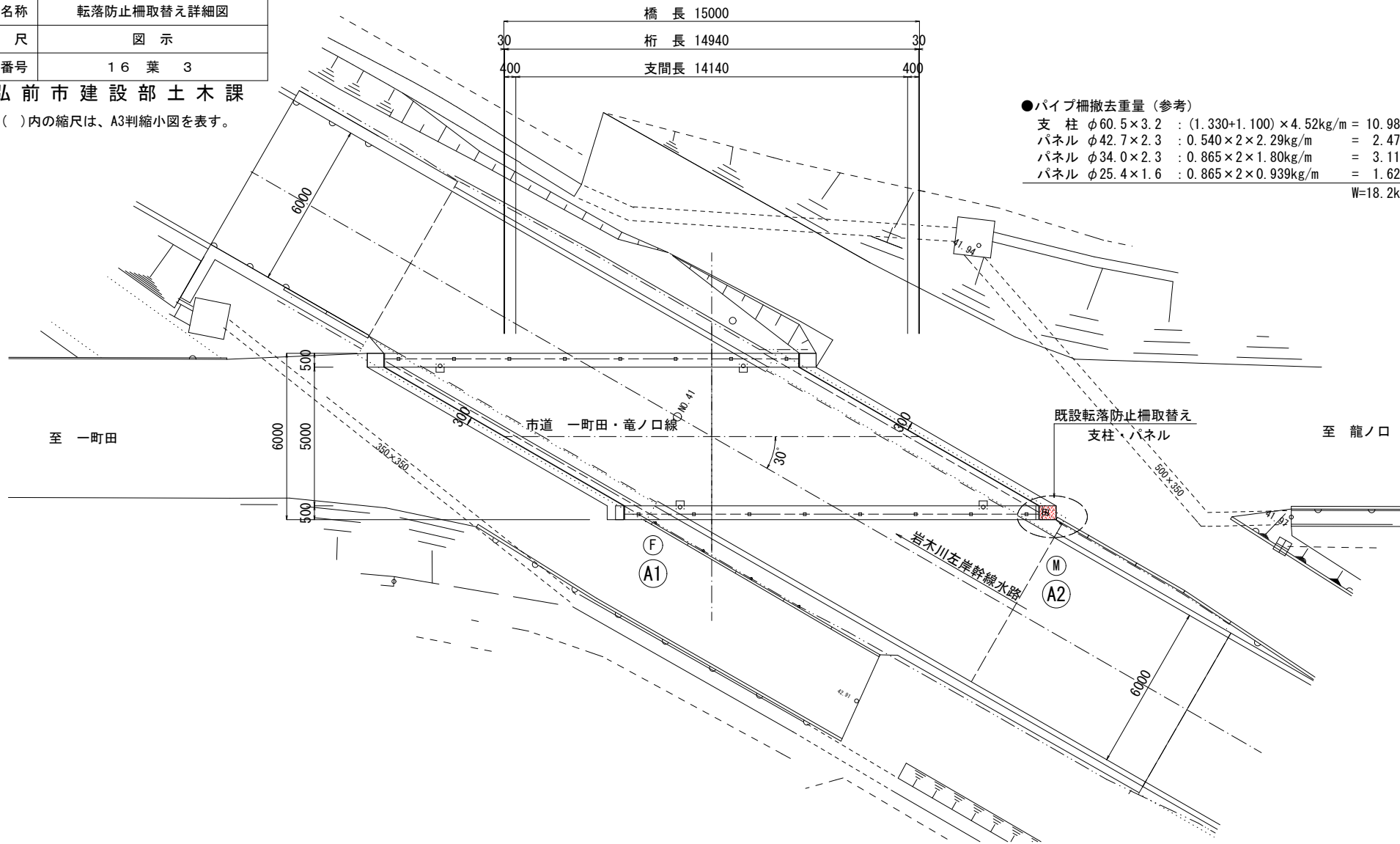
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	転落防止柵取替え詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 3

弘前市建設部土木課

※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 転落防止柵取替え詳細図

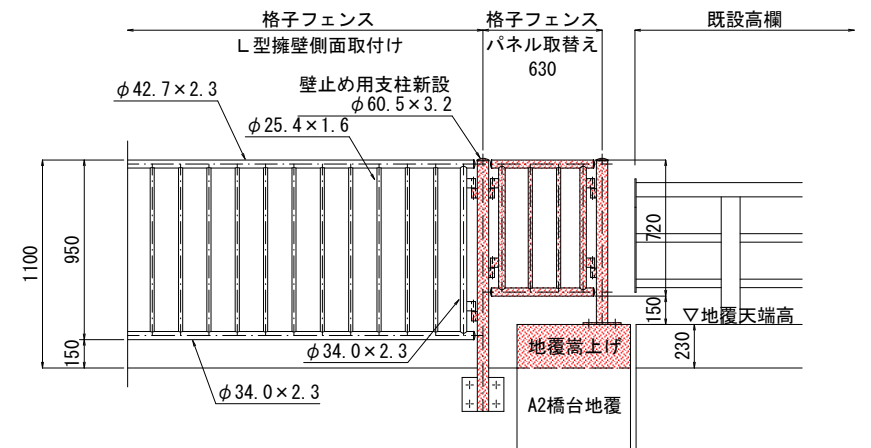
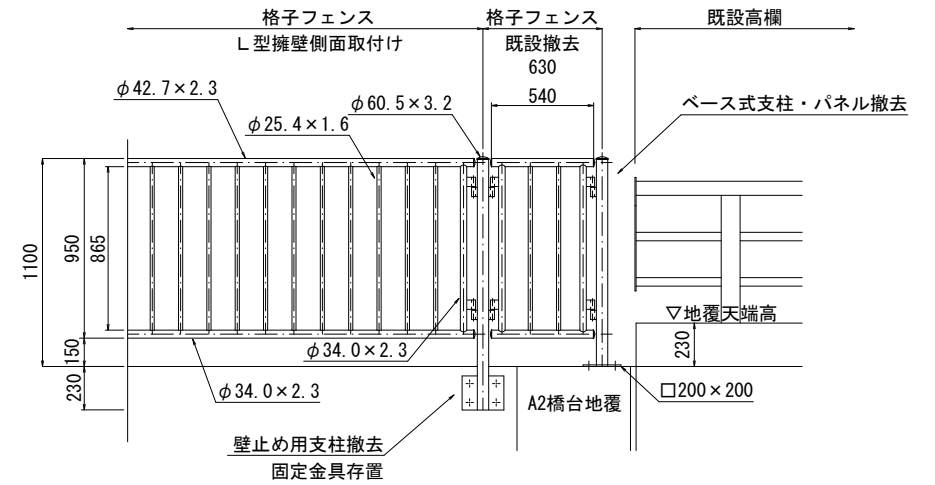
平 面 図 S=1/100 (200)



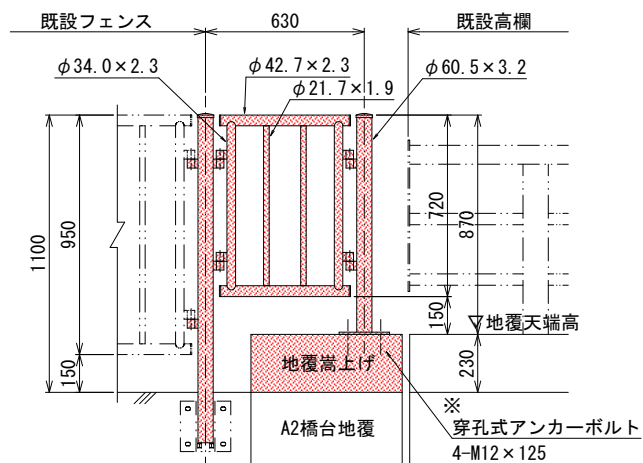
●パイプ柵撤去重量 (参考)

支 柱	φ60.5×3.2	:	(1.330+1.100)×4.52kg/m	=	10.98kg
パネル	φ42.7×2.3	:	0.540×2×2.29kg/m	=	2.47kg
パネル	φ34.0×2.3	:	0.865×2×1.80kg/m	=	3.11kg
パネル	φ25.4×1.6	:	0.865×2×0.939kg/m	=	1.62kg
W=18.2kg					

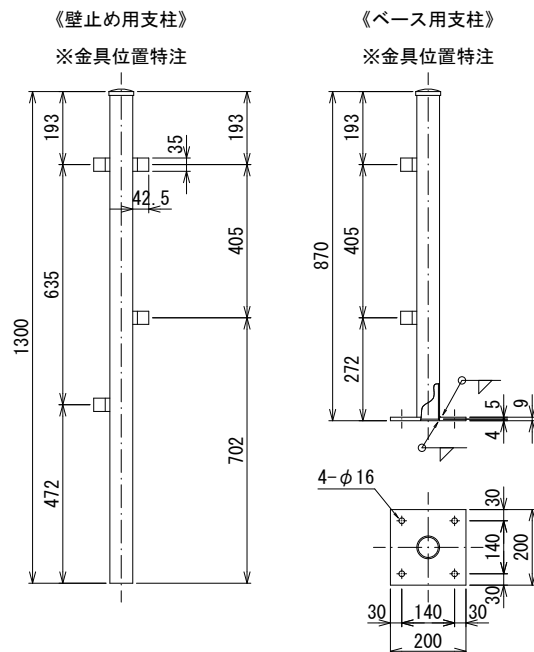
既設転落防止柵 取替え図 S=1/20 (40)
(A2橋台 上流側地覆部)



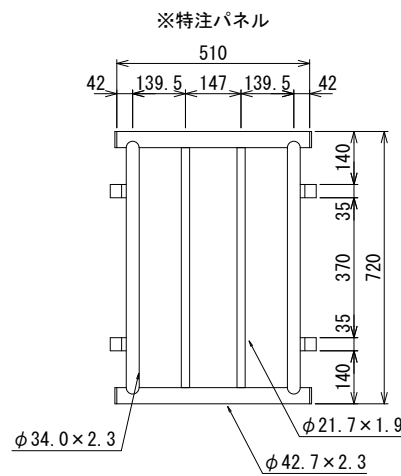
組立図 S=1/15 (30)



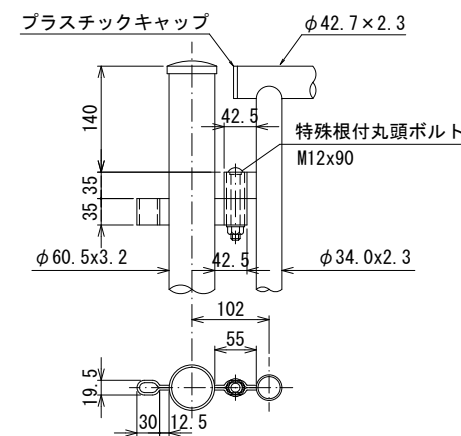
支柱図 S=1/10 (20)



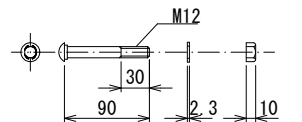
パネル加工図 S=1/10 (20)



柱・パネル取付詳細図 S=1/5 (10)



パネル取付ボルト図 S=1/4 (8)



※ベース式支柱の設置位置について
伸縮装置の取替えにおいて、選定される構造形式が
「地覆カバー」が取付けられる場合、ベース式支柱の
設置位置は干渉しないよう適宜設定すること。

年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	伸縮装置補修図(1/3) [A1：参考図]
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 4

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

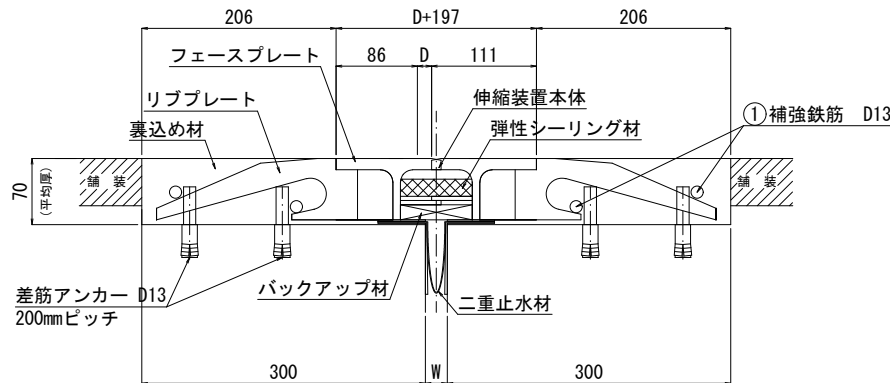
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 伸縮装置補修図 (1/3)

[A1：参考図]

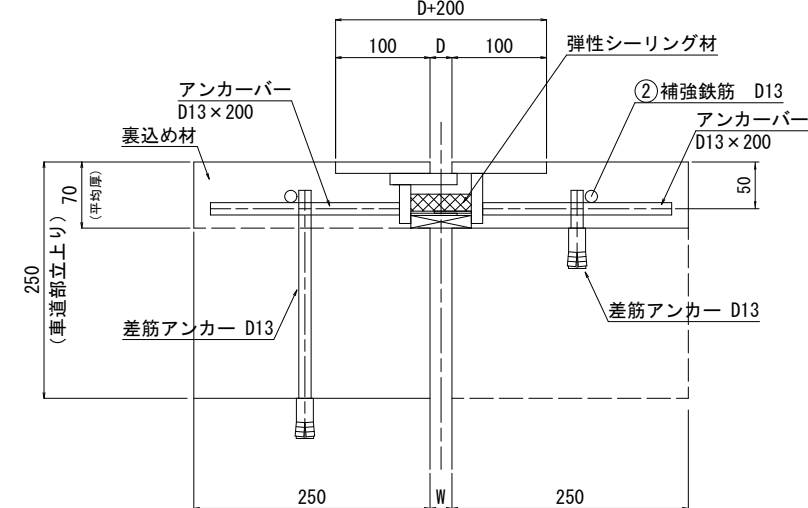
伸縮継手断面図

車道部：伸縮量20mmタイプ S=1/4 (8)



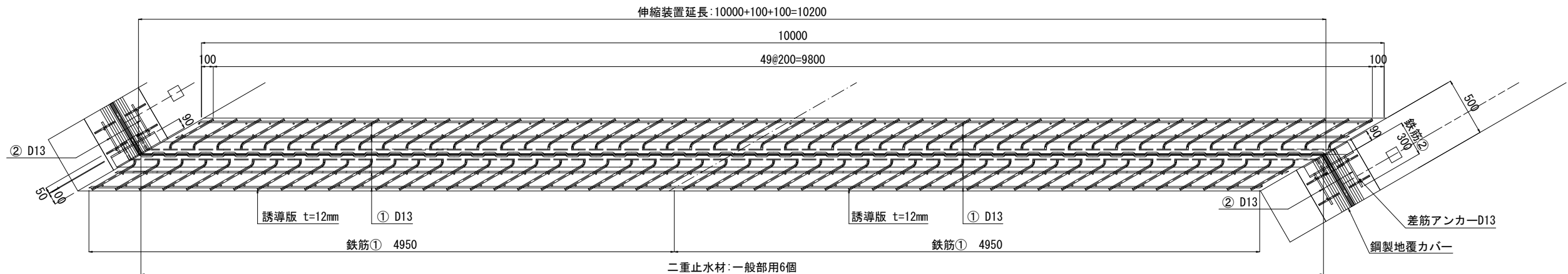
伸縮継手断面図

地覆部：伸縮量20mmタイプ S=1/4 (8)



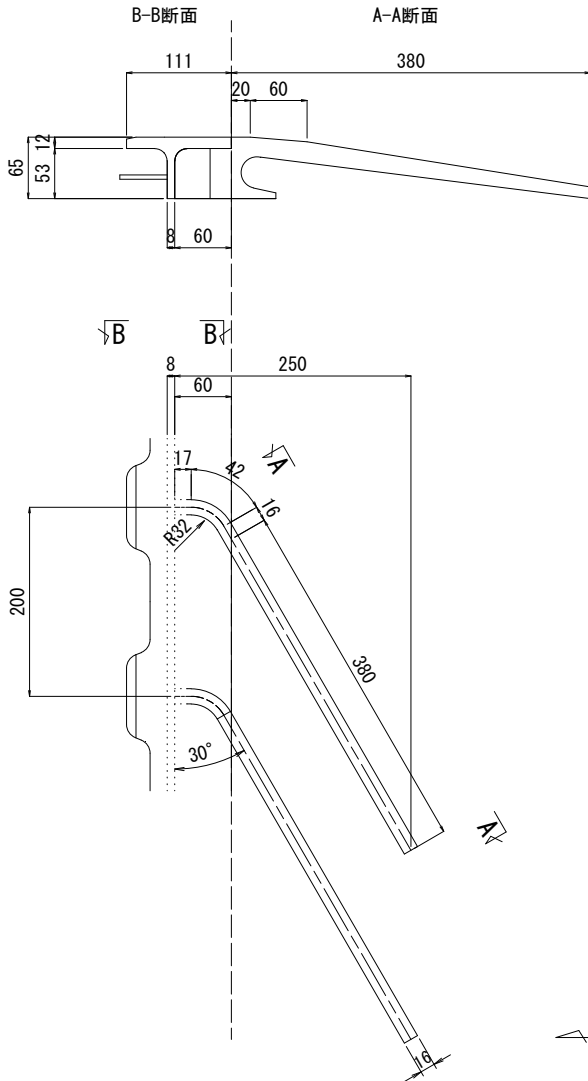
平面配筋図

S=1/20 (40)



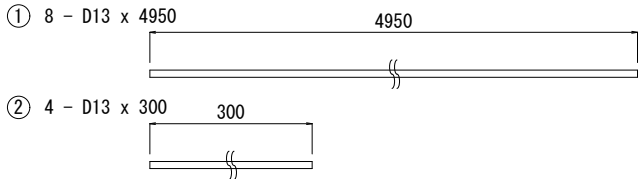
リブプレート詳細図

S=1/4 (8)



鉄筋加工図

S=1/8 (16)

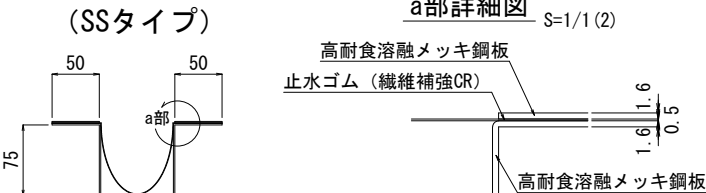


鉄筋質量表

番号	径	長さ	本数	単位質量	1本あたりの質量	質量	形状	材質	適用
①	D13	4950	8	0.995	4.93	39	—	SD345	
②	D13	300	4	0.995	0.30	1	—	SD345	
合計						40	kg		
D13 差筋アンカー						208	本		

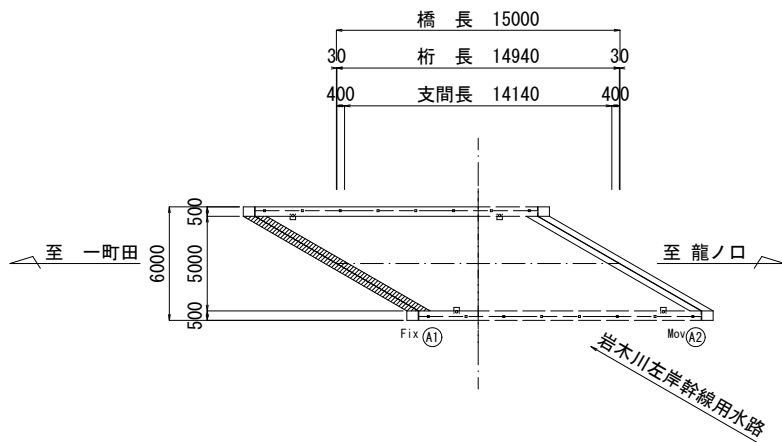
二重止水材詳細図

S=1/4 (8)



施工位置図

S=1/200 (400)



注1) 遊間は標準遊間とする。
注2) 施工延長等は現場実測の上決定すること。
注3) 裏込め材は超速硬コンクリートとする。

年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	伸縮装置補修図 (3/3) [地覆部：参考図]
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 6

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

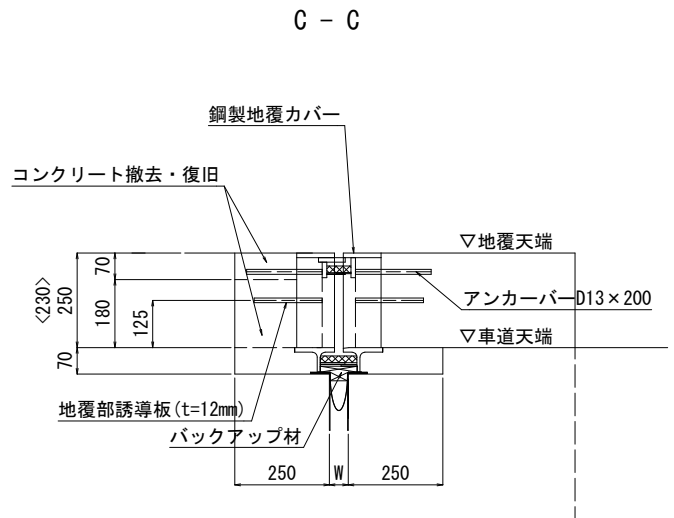
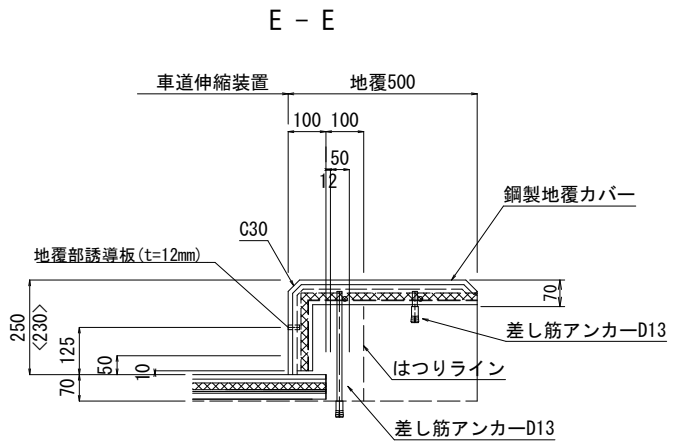
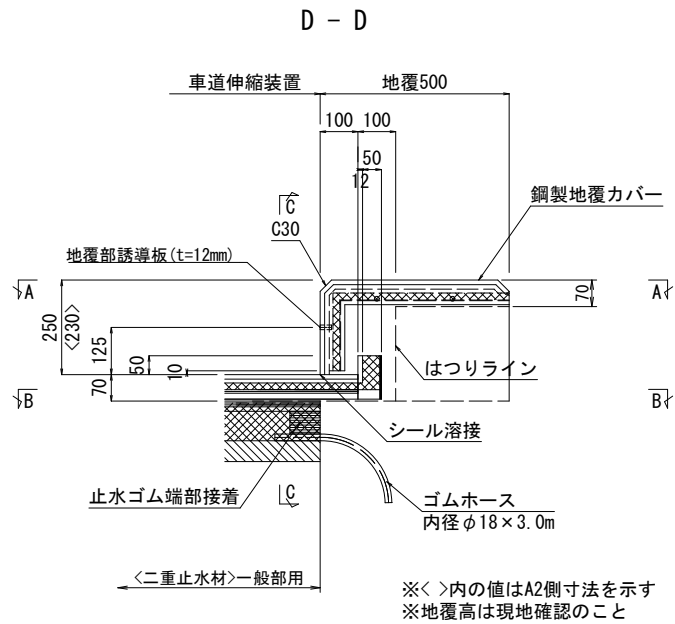
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 伸縮装置補修図 (3/3)

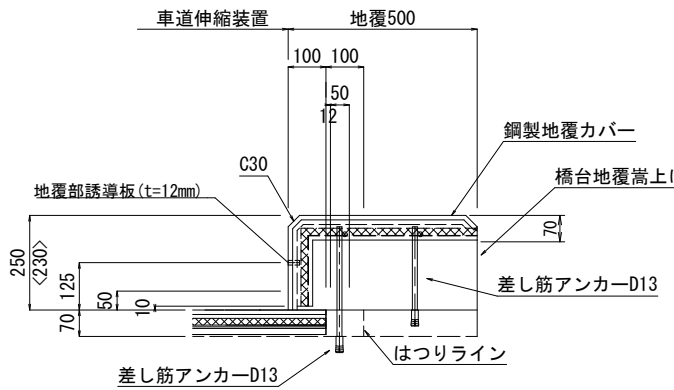
〔地覆部：参考図〕

目地処理・地覆部詳細図

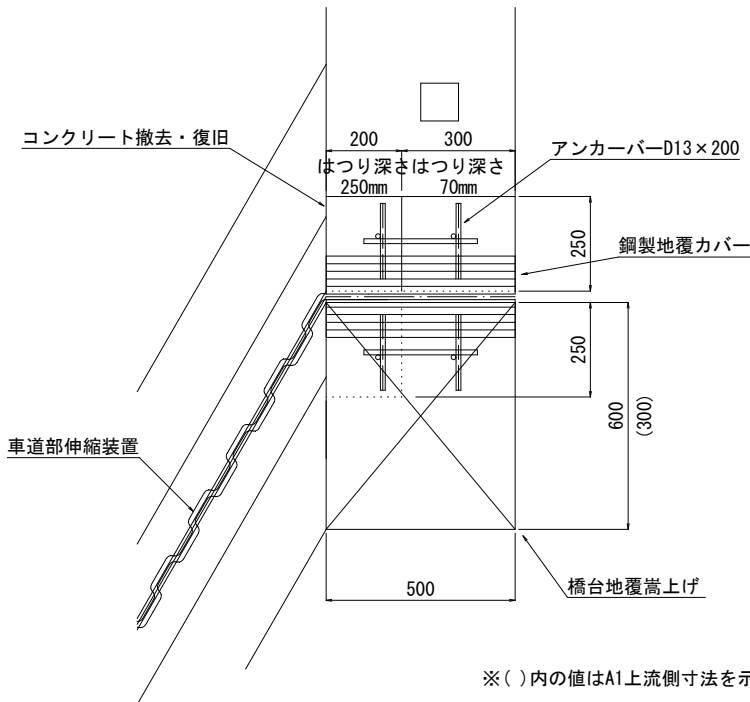
S=1/10 (20)



F - F

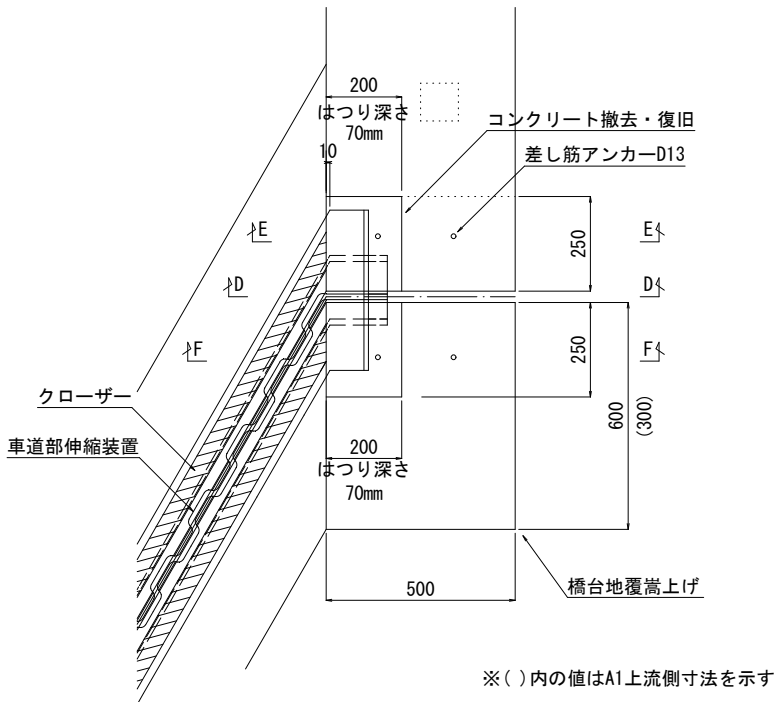


A - A



※()内の値はA1上流側寸法を示す

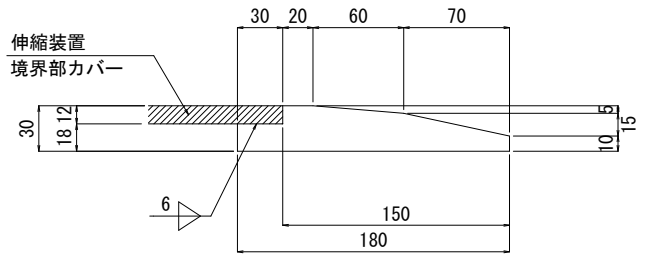
B - B



※()内の値はA1上流側寸法を示す

地覆部用誘導版詳細図

S=1/5 (10)



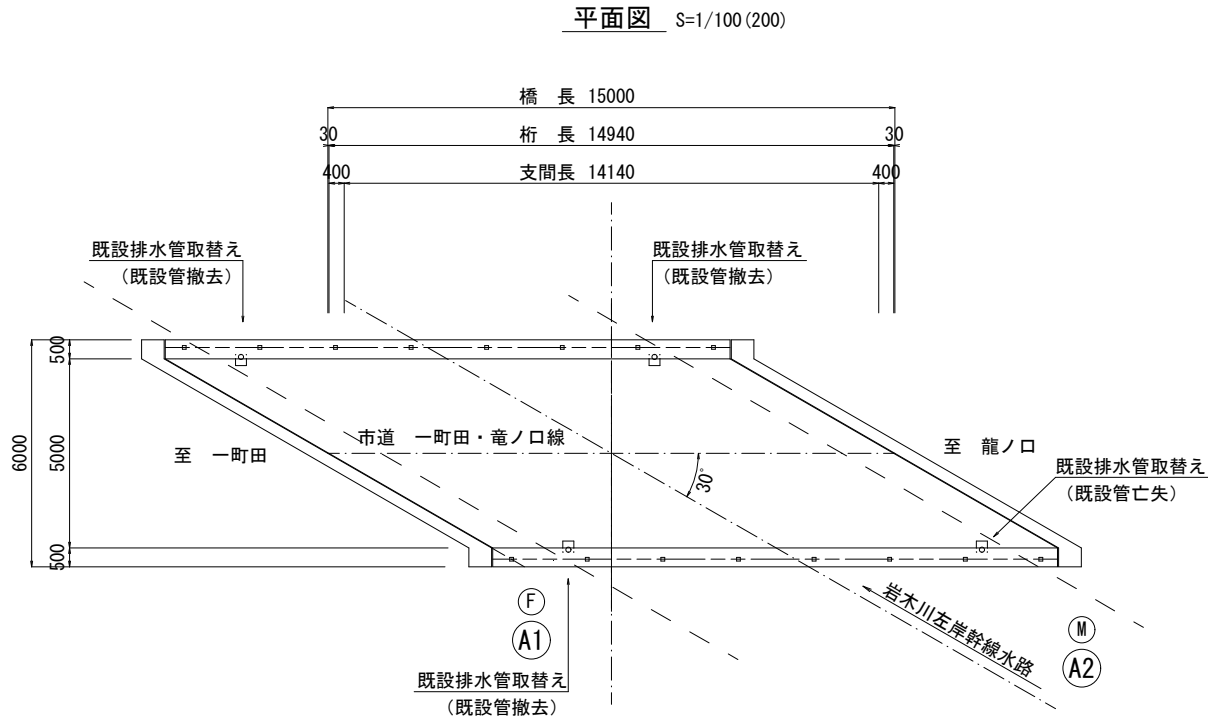
注1) 遊間は標準遊間とする。
注2) 施工延長等は現場実測の上決定すること。

年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	排水管取替え詳細図〔参考〕
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 7

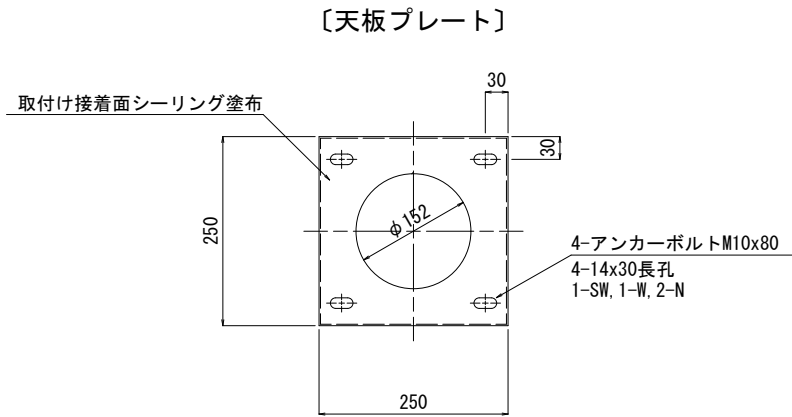
弘 前 市 建 設 部 土 木 課

※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

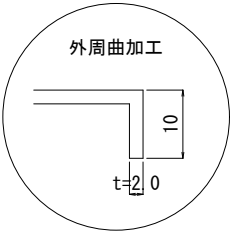
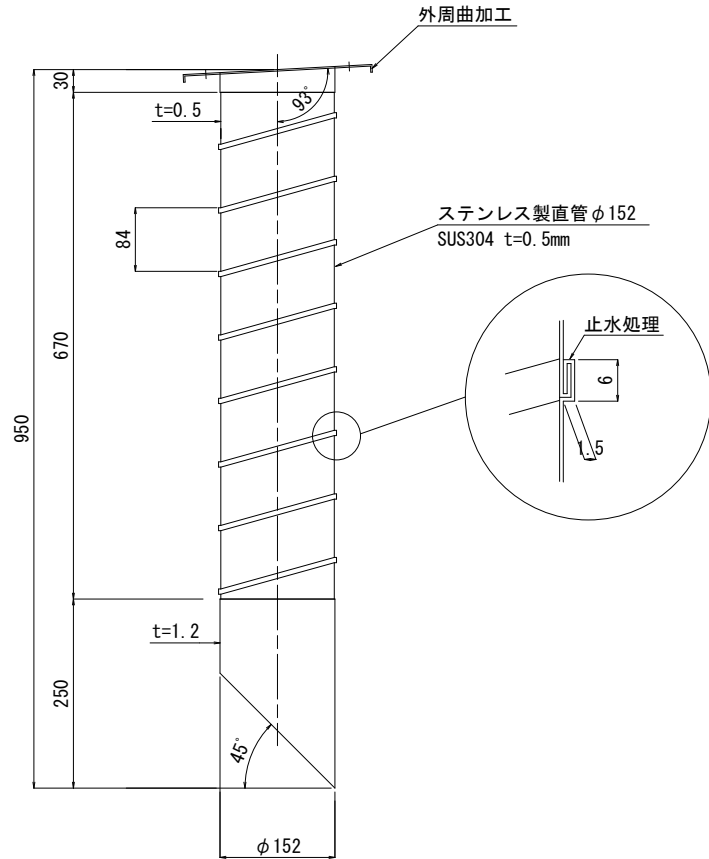
津軽かんぱい5号橋 排水管取替え詳細図〔参考〕



ステンレス製排水管参考図 S=1/5 (10)

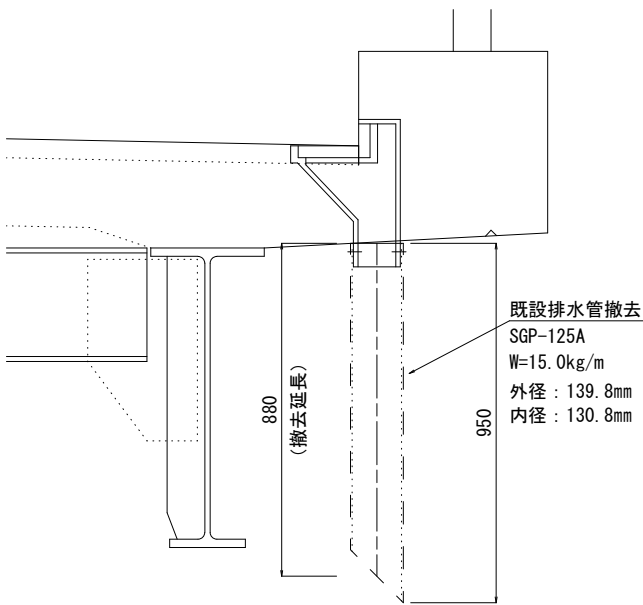


〔ステンレス製排水管〕



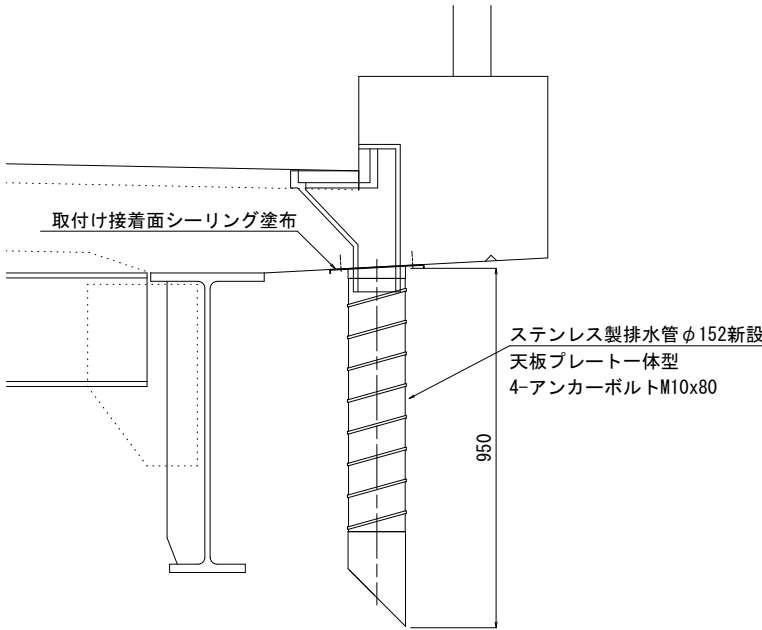
既設排水管撤去図 S=1/10(20)

N=3箇所
(A2上流側1箇所亡失)



排水管取替え図 S=1/10(20)

N=4箇所



※留意事項

- 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- 天板プレートー体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
- t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
- 現地調査にて寸法確定後製作する。

※既設排水樹出口の錆は、ディスクサンダーやワイヤブラシ等で除去し防錆処理を行うこと。

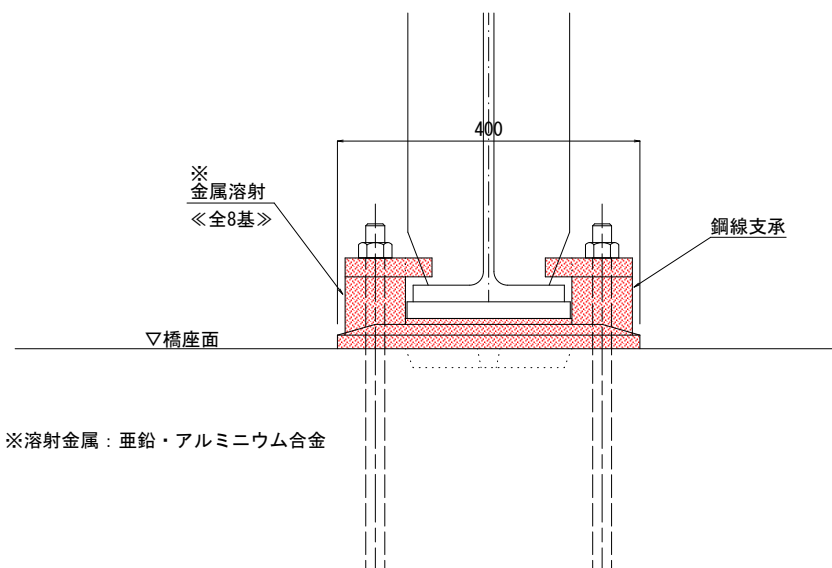
年 度	令和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	支 承 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 8

弘前市建設部土木課

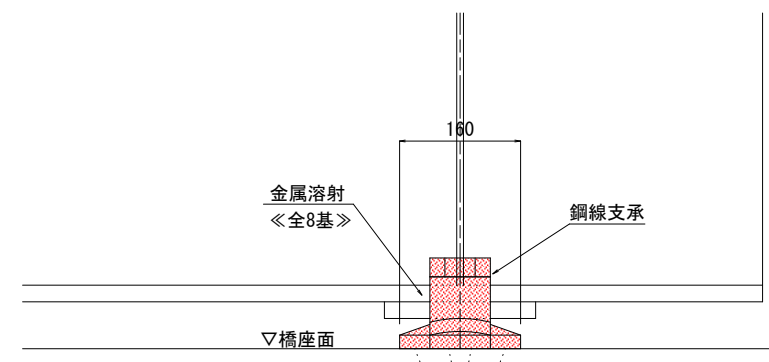
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 支 承 補 修 図

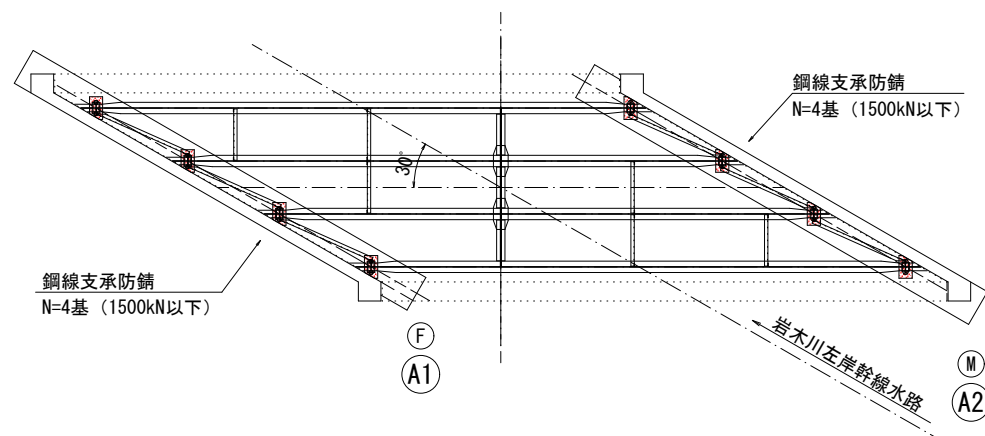
正 面 図 $S=1/5(10)$



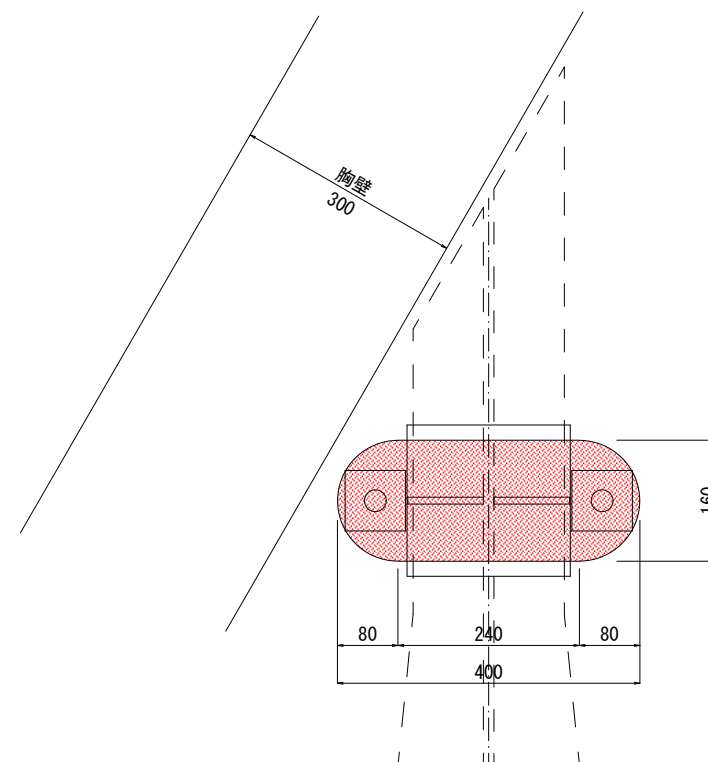
側 面 図 $S=1/5(10)$



平面图 S=1/100 (200)

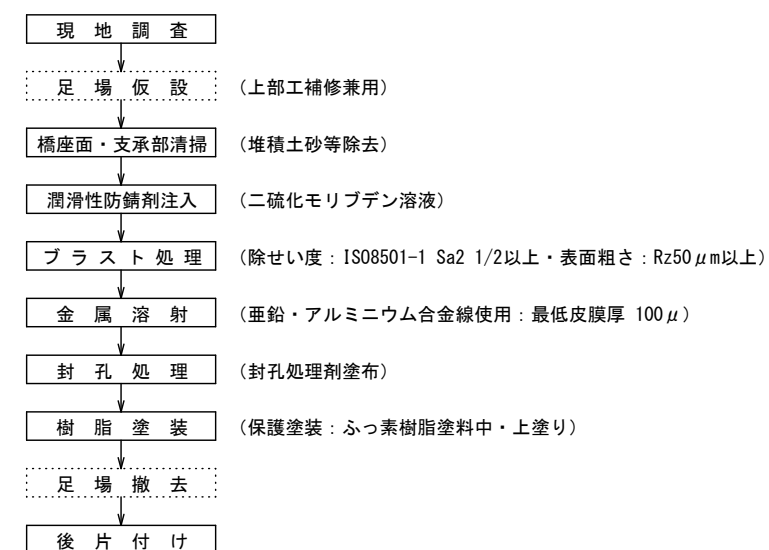


既設鋼線支承平面図 S=1/5(10)

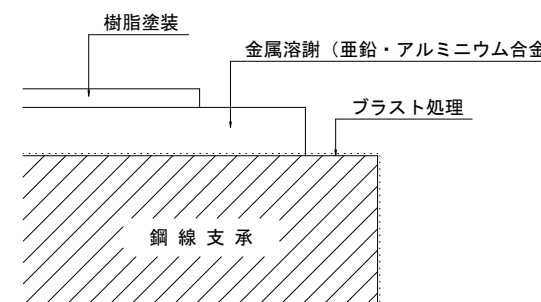


支保防錆施工フロー

〔支承若返り工法〕



〔支承防錆概要図〕



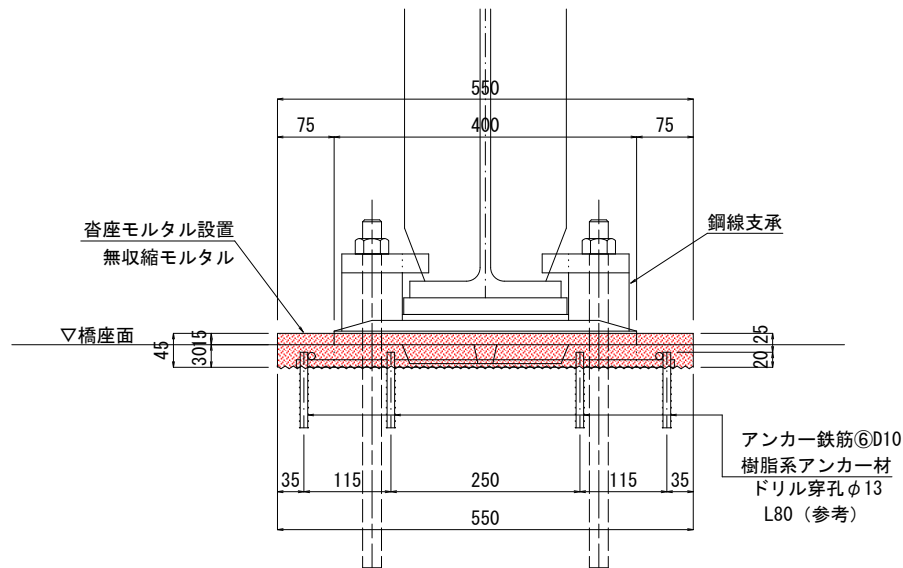
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	沓座モルタル設置図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 9

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

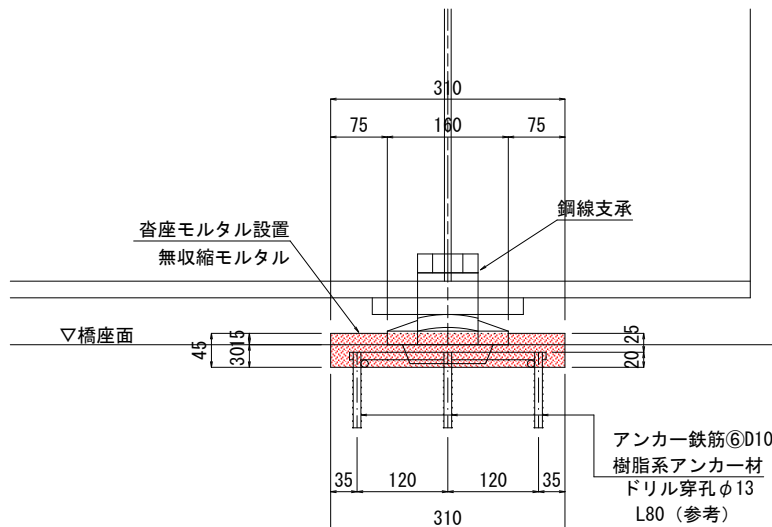
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 沓座モルタル設置図

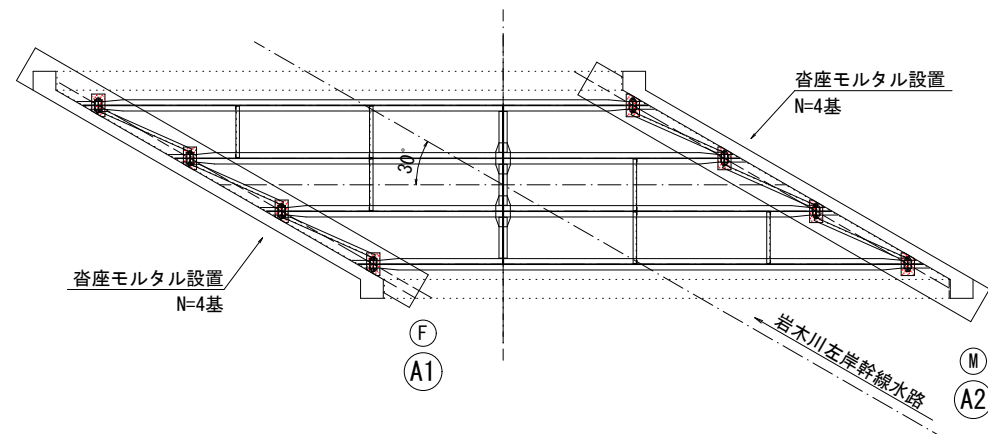
正 面 図 S=1/5(10)



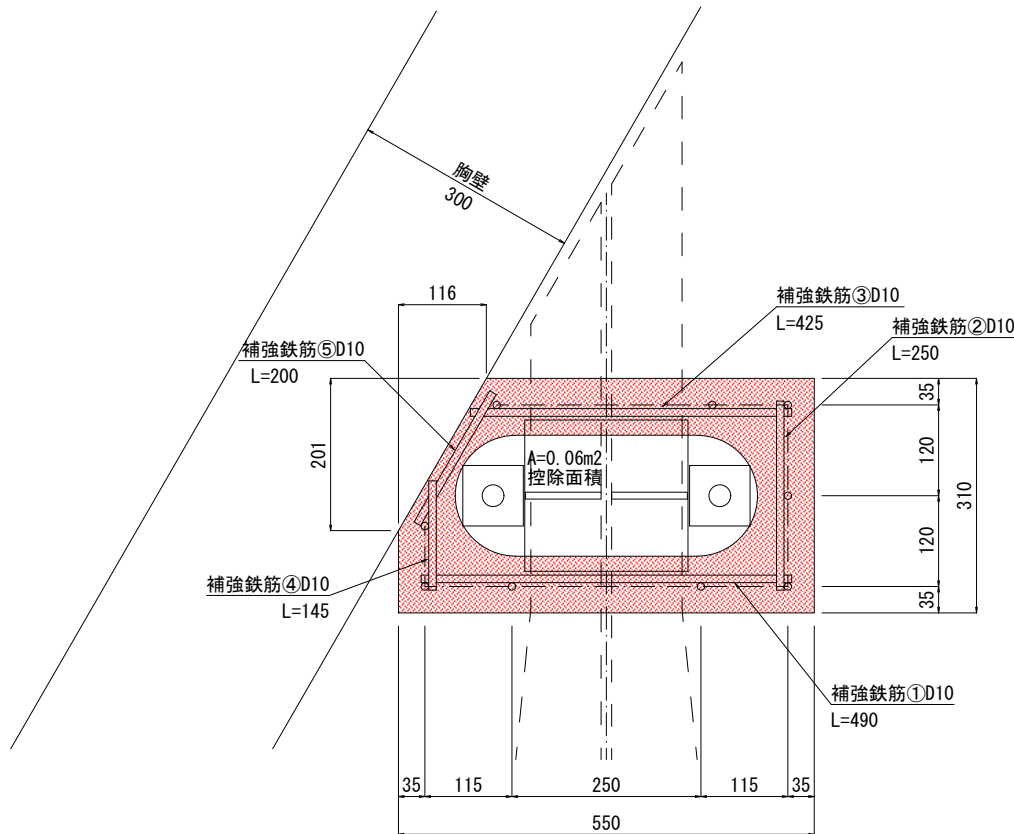
側 面 図 S=1/5(10)



平 面 図 S=1/100(200)



平 面 図 S=1/5(10)



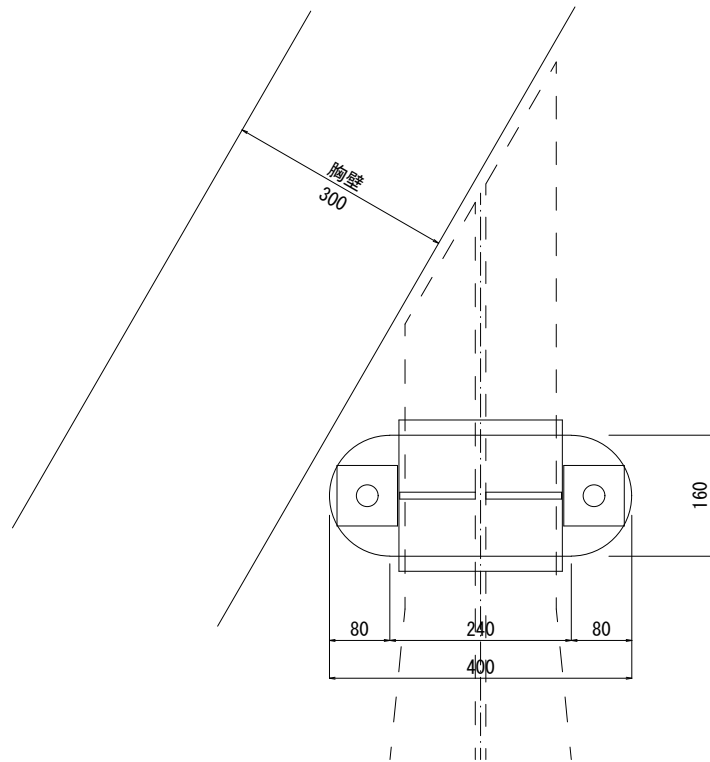
鉄 筋 表

〔A1橋台・A2橋台共通〕

(1基当たり)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	質量/本	質 量	摘 要
①	D10	490	1	0.560	0.27	0.3	補強鉄筋
②	D10	250	1	0.560	0.14	0.1	補強鉄筋
③	D10	425	1	0.560	0.24	0.2	補強鉄筋
④	D10	145	1	0.560	0.08	0.1	補強鉄筋
⑤	D10	200	1	0.560	0.11	0.1	補強鉄筋
⑥	D10	100	9	0.560	0.06	0.5	アンカー鉄筋
D10 (SD345)							1.3 kg

既設鋼線支承平面図 S=1/5(10)



※表記寸法及び施工の可否は現地検測の上決定すること。

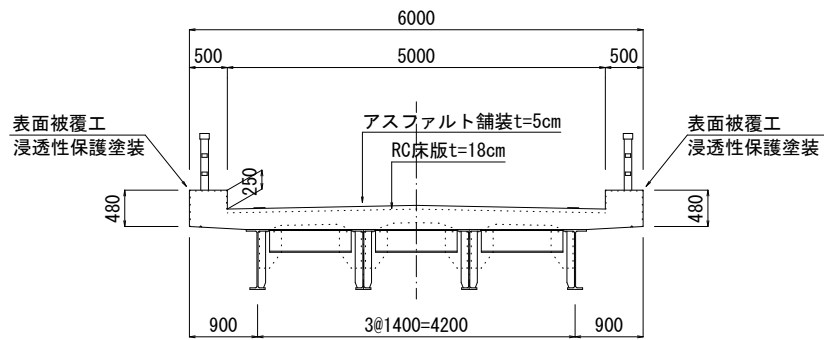
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんばい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	地 覆 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1 0

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

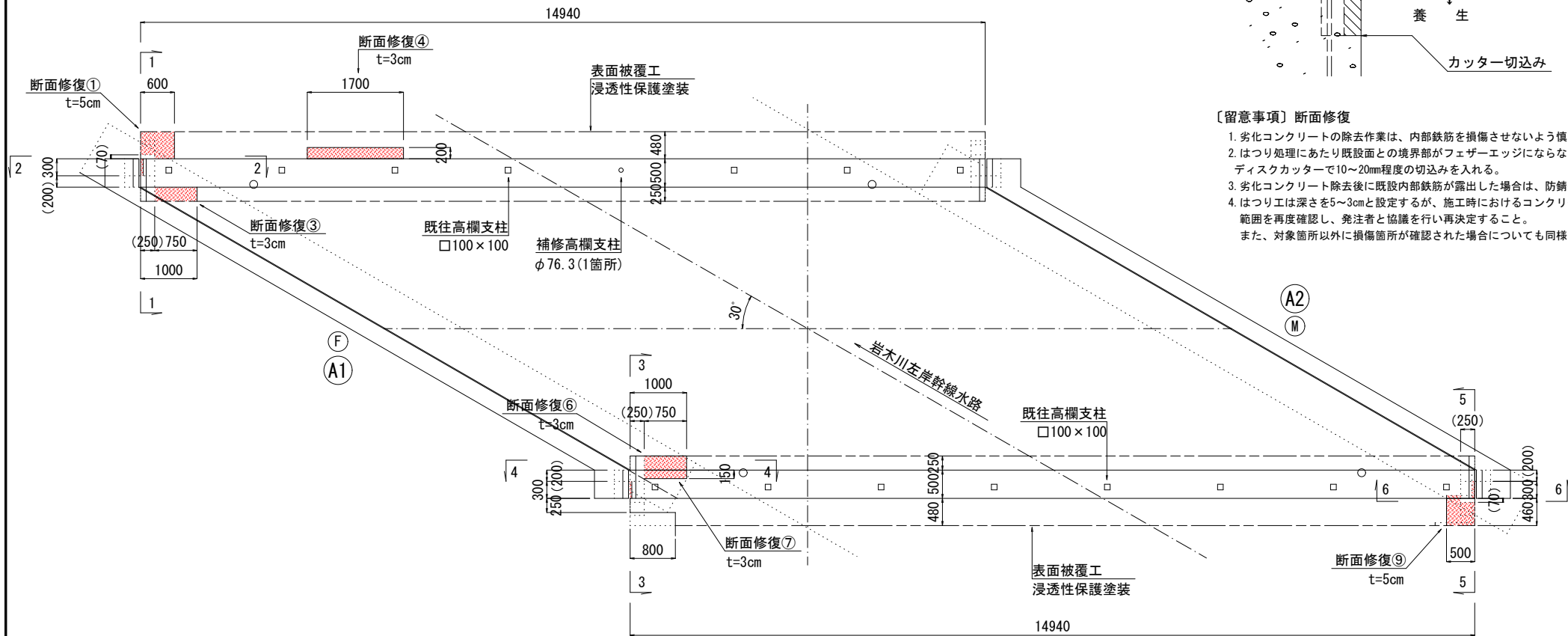
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんばい5号橋 地覆補修図

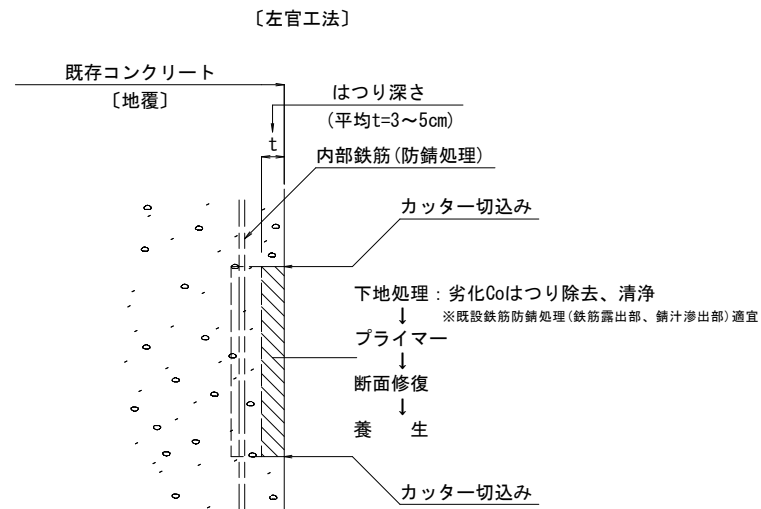
断 面 図 S=1/50 (100)



地覆展開平面図 S=1/50 (100)



断面修復詳細図

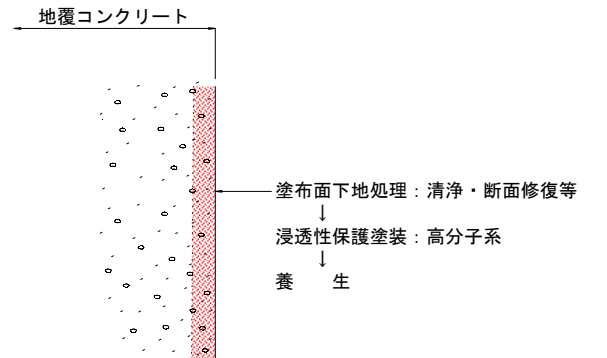


【留意事項】断面修復

- 劣化コンクリートの除去作業は、内部鉄筋を損傷させないよう慎重に行うこと。
 - はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10~20mm程度の切込みを入れる。
 - 劣化コンクリート除去後に既設内部鉄筋が露出した場合は、防錆処理を行うこと。
 - はつり工は深さを5~3cmと設定するが、施工時におけるコンクリート劣化状況及び範囲を再度確認し、発注者と協議を行い再決定すること。
- また、対象箇所以外に損傷箇所が確認された場合についても同様とする。

表面被覆工詳細図

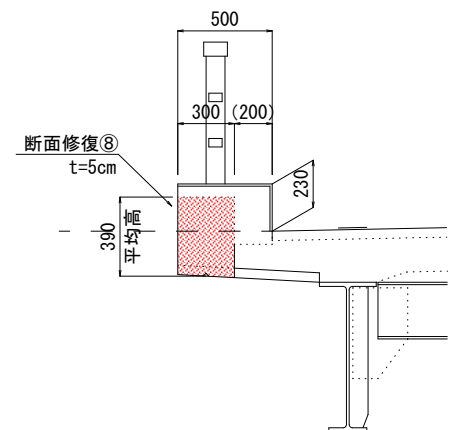
〔浸透性保護塗装〕



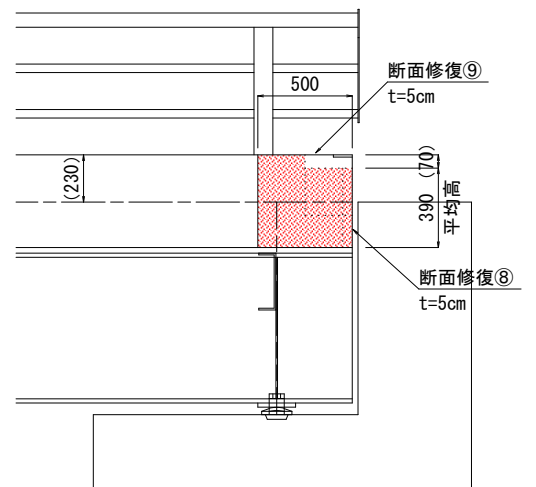
【留意事項】表面被覆工（浸透性保護塗装）

- 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。下地処理の際、断面欠損部・脆弱部・ジャンカ・豆板等はポリマーセメントモルタルにて修復を行い、平滑面を確保する。
- 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。施工時は周囲に飛散させないよう注意を払う。
- 作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。なお使用する材料の特性・施工要領を確認すること。

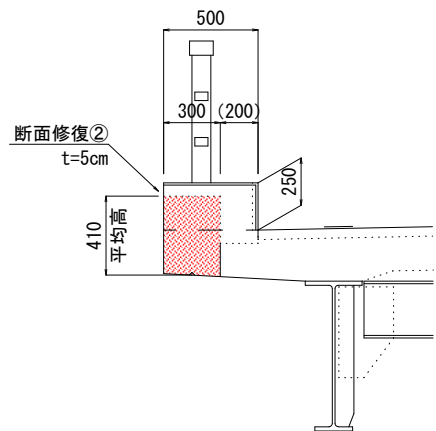
5-5断面図 S=1/20 (40)



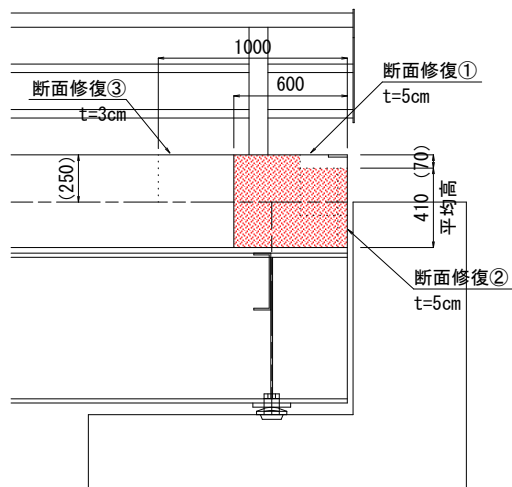
6-6側面図 S=1/20 (40)



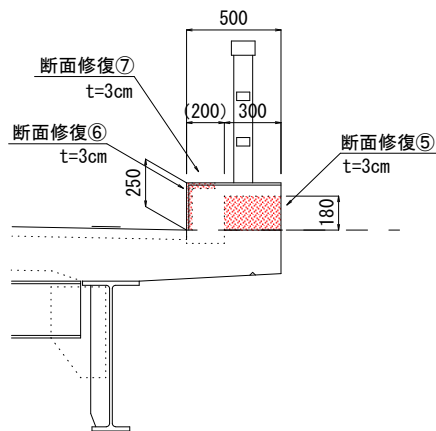
1-1断面図 S=1/20 (40)



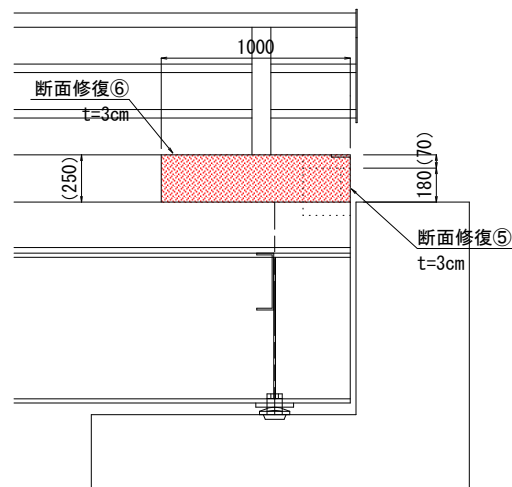
2-2側面図 S=1/20 (40)



3-3断面図 S=1/20 (40)



4-4側面図 S=1/20 (40)



※() 値は伸縮装置取替えに伴うはつり範囲を表す。
採用する伸縮装置によって適宜設定すること。

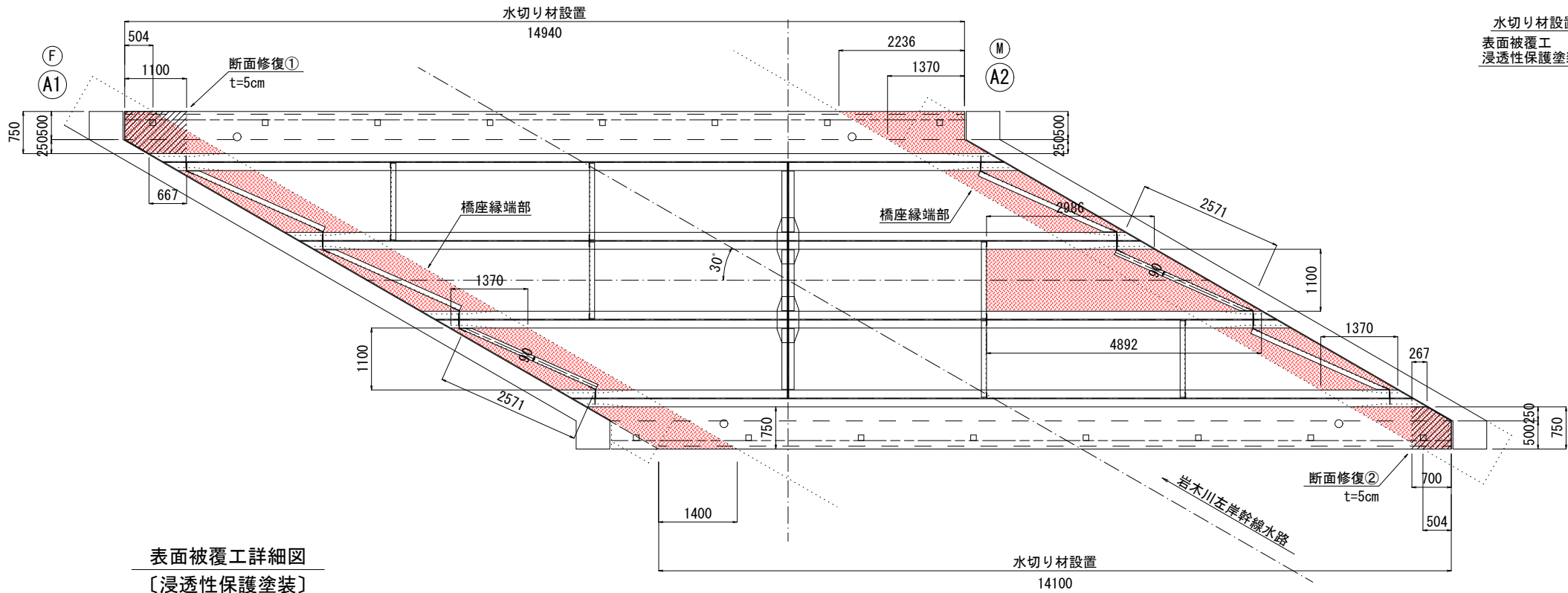
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんばい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	床 版 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1 1

津軽かんばい5号橋 床版補修図

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

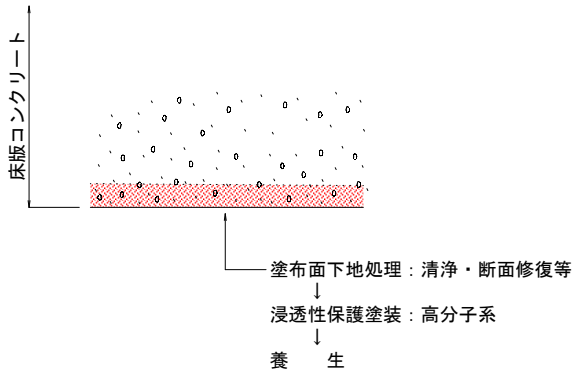
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

平 面 図 S=1/50 (100)



表面被覆工詳細図

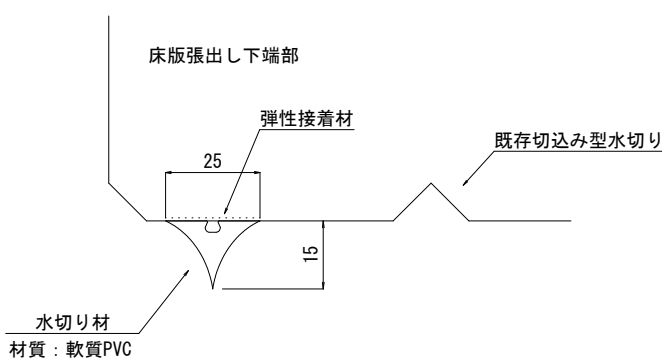
〔浸透性保護塗装〕



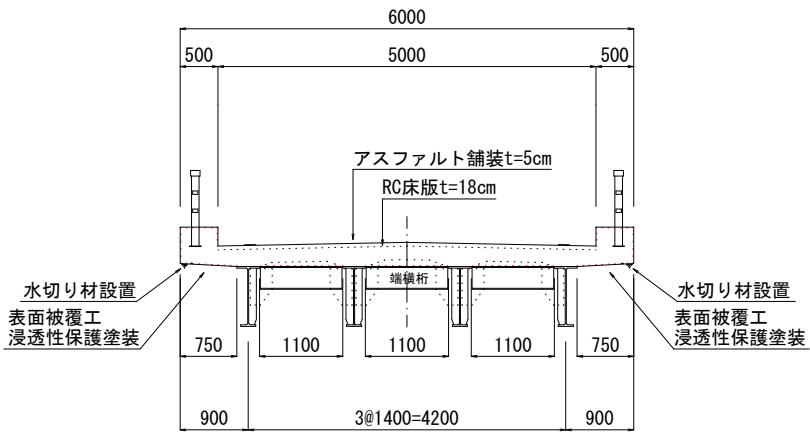
〔留意事項〕表面被覆工（浸透性保護塗装）

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
下地処理の際、断面欠損部・脆弱部・ジャンカ・豆板等はポリマーセメントモルタルにて修復を行い、平滑面を確保する。
2. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは噴霧機にて含浸させる。
施工時は周囲に飛散させないよう注意を払う。
3. 作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。
なお使用する材料の特性・施工要領を確認すること。

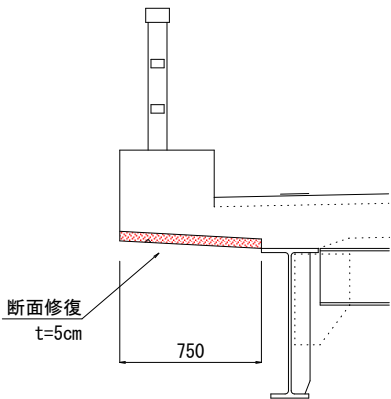
水切り材詳細図



断 面 図 S=1/50 (100)

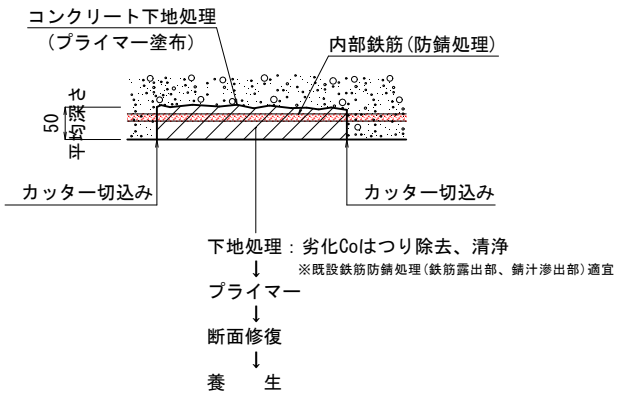


床版張出し部断面修復 S=1/20 (40)



断面修復詳細図

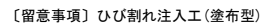
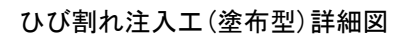
〔左官工法〕



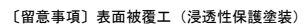
〔留意事項〕断面修復

1. 劣化コンクリートの除去作業は、内部鉄筋を損傷させないよう慎重に行うこと。
2. はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
3. 劣化コンクリート除去後に露出した内部鉄筋（鋼材）は、防錆処理を行うこと。
4. はつり工は深さ5cmを想定するが、コンクリートの劣化状況及び健全性を確認した上で発注者と再度協議を行い再決定すること。
また、対象箇所以外に損傷箇所が確認された場合についても同様とする。

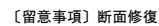
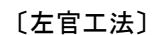
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。



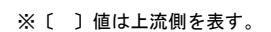
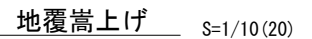
- 〔浸透性保護塗装〕



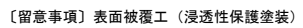
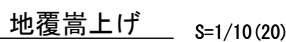
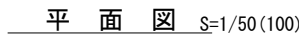
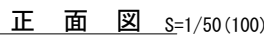
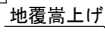
- 正 面 图 $S=1/50(100)$



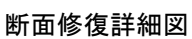
1. 劣化コンクリートの除去作業は、内部鉄筋を傷めないよう慎重に行うこと。
 2. はつり処理にあたり既設コンクリートの境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
 3. 劣化コンクリートの除去を行い既設内部鉄筋が露出した場合は、防錆処理を行うこと。
 4. はつり工程は深さ3cmを想定が、コンクリートの劣化進行状況及び健全性を確認した上で発注者と協議を行い決定すること。
- また、対象箇所以外に漏備箇所が確認された場合についても同様とする。



※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。



1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
下地処理の際、断面欠損部・脆弱部・ジャンカ・豆板等はポリマーセメントモルタルにて修復を行い、平滑面を確保する。



- 〔留意事項〕断面修復

1. 劣化コンクリートの除去作業は、内部鉄筋を損傷させないよう慎重に行うこと。
 2. はつり処理にあたり既設面との境界部がウェザエッジにならないよう
ディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
 3. 劣化コンクリートの除去を行い、内部鉄筋が露出した場合は、防錆処理を行うこと。
 4. はつり工程の深さを想定するが、コンクリートの劣化進行状況及び健全性を確認した上で
発注者と協議を行い決定すること。
- また、対象箇所以外に損傷箇所が確認された場合についても同様とする。

(1橋台当たり)



年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	主 桁 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1 4

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

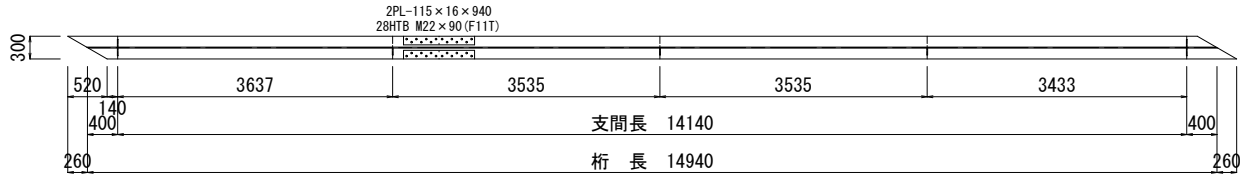
※（ ）内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 主桁補修図

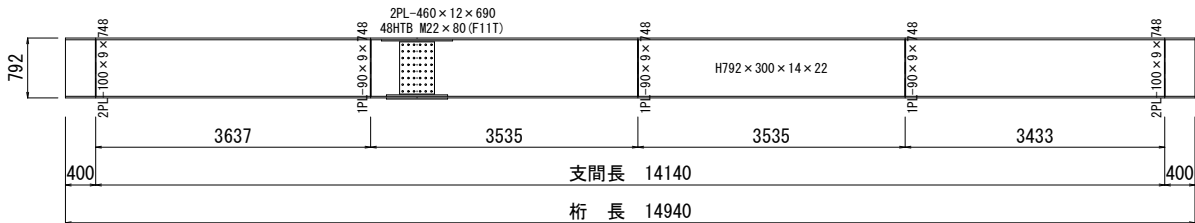
塗装塗替え詳細図

S=1/50 (100)

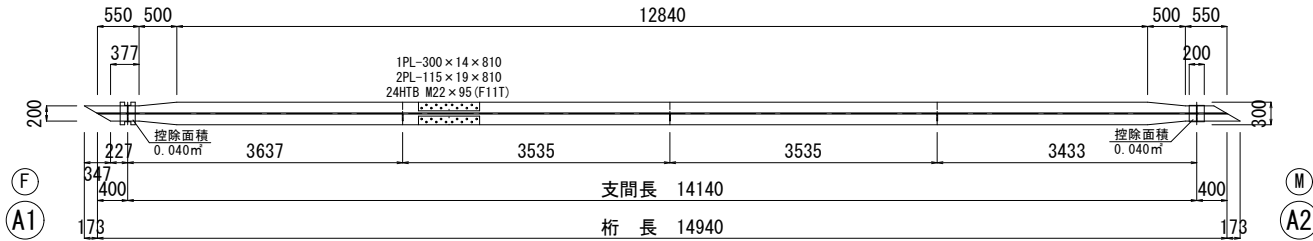
主桁上フランジ下面



主 桁 側 面

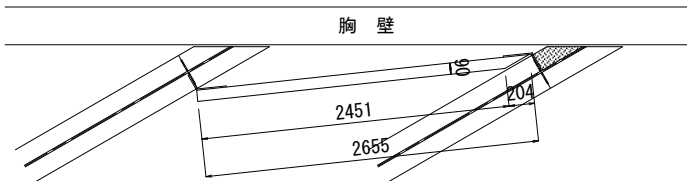


主桁下フランジ上面



端横桁詳細図

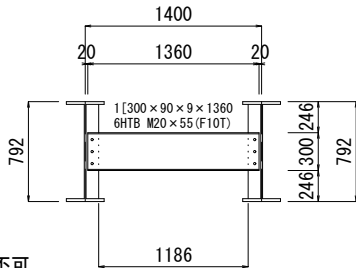
S=1/30 (60)



着色部は塗装塗替え作業不可

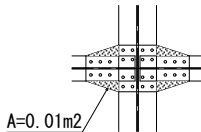
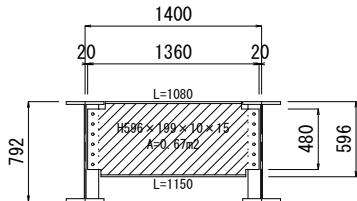
横桁詳細図

S=1/30 (60)



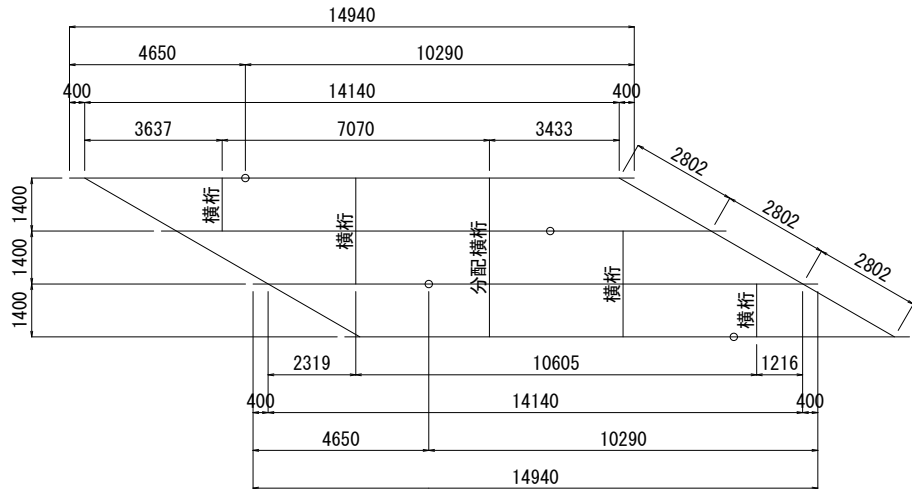
分配横桁詳細図

S=1/30 (60)



桁位置図

S=1/100 (200)

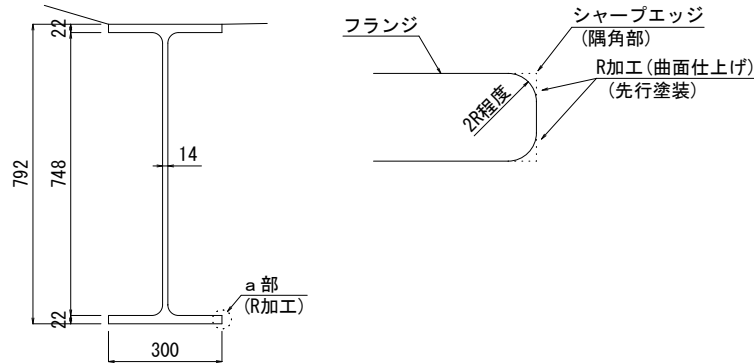


桁 断 面 図

主桁断面図

S=1/10 (20)

a 部 R加工詳細図



主桁外鋼材部 塗替え塗装仕様

注意事項	既存塗膜に鉛の含有が確認されているため法令等を遵守する。
------	------------------------------

Rc-I 塗装系（スプレー）※1			
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種相当（プラスト工法）※3		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日※2
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	

※1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。変更した際の各使用量については『『鋼道路橋防食便覧』表-I1.5.5 各塗料の標準使用量と標準膜厚』による。

※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※3：既存塗膜の除去は、プラスト工法又は動力工具等により素地調整程度1種相当を確保するものとし除せし度はISO Sa2 1/2とする。（準拠図書「鋼道路橋防食便覧」）

プラスト作業時は、塗膜片等が外部に飛散しないよう防護を行い、労働安全衛生法ほか関係法令を遵守し環境保全と作業環境および安全確保と騒音に配慮した上で、適正に作業を行うこと。

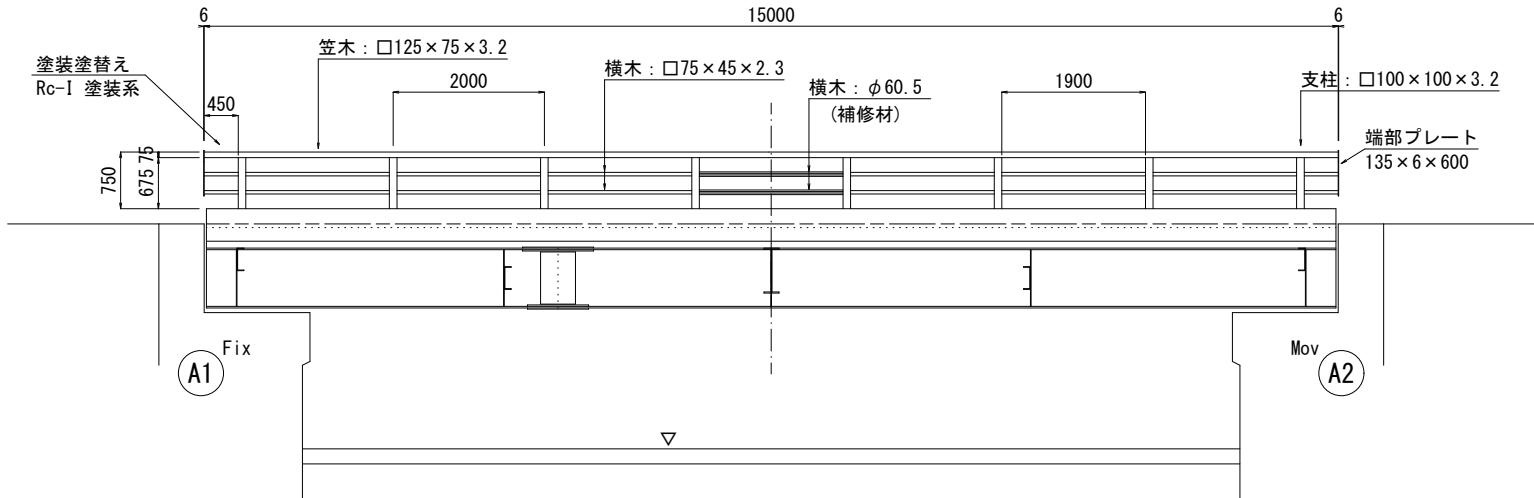
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんばい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	防 護 柵 補 修 図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1 5

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

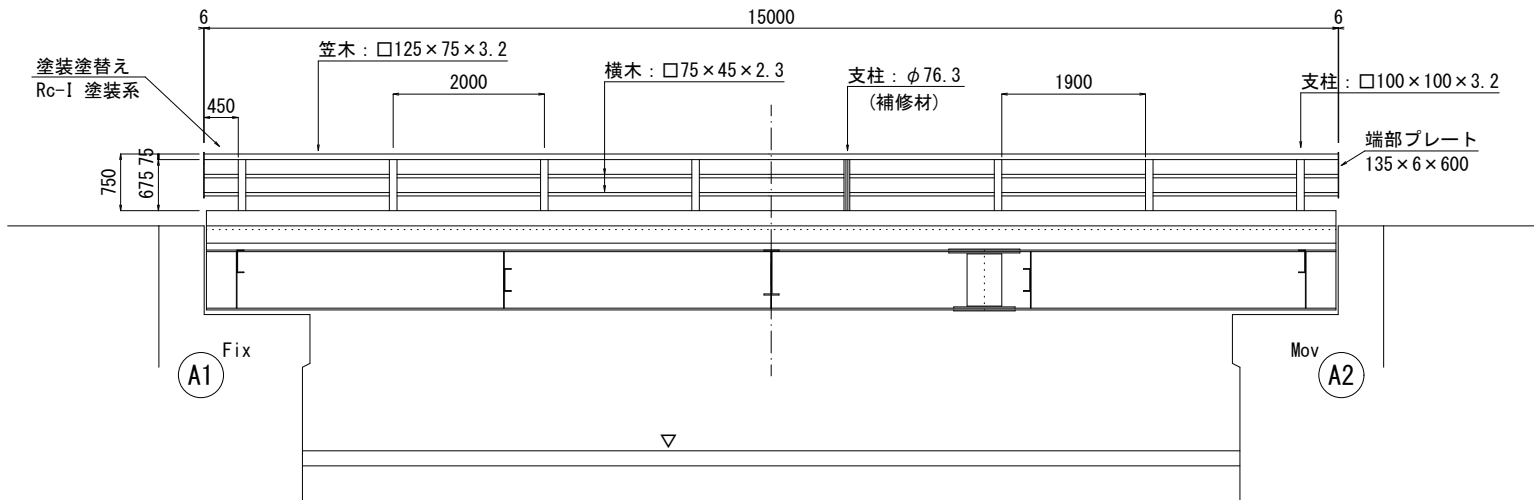
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんばい5号橋 防護柵補修図

上流側 側面図 S=1/50(100)



下流側 側面図 S=1/50(100)



防 護 柵 塗替え塗装仕様

注意事項	既存塗膜に鉛の含有が想定されるため、法令等を遵守する。
------	-----------------------------

Rc-I 塗装系 (スプレー)^{※1}

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種相当 (プラスト工法) ^{※3}		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日 ^{※2}
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

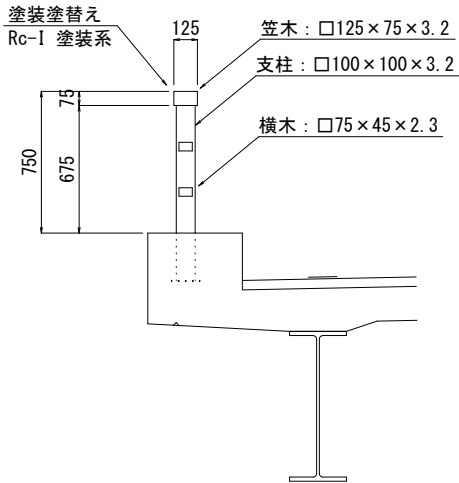
※1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。変更した際の各使用量については『「鋼道路橋防食便覧」表-I1.5.5 各塗料の標準使用量と標準膜厚』による。

※2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

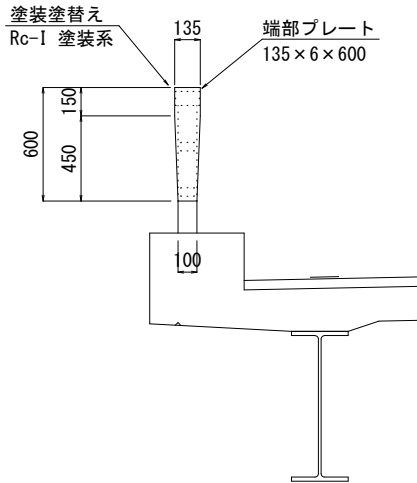
※3：既存塗膜の除去は、プラスト工法又は動力工具等により素地調整程度1種相当を確保するものとし、除せし度はISO Sa2 1/2とする。(準拠図書「鋼道路橋防食便覧」)
プラスト作業時は、塗膜片等が外部に飛散しないよう防護を行い、労働安全衛生法ほか関係法令を遵守し、環境保全と作業環境および安全確保と騒音に配慮した上で、適正に作業を行うこと。

※表記寸法は、現地検測の上決定すること。

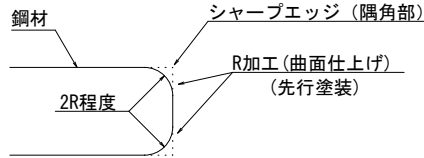
防護柵断面図 S=1/20(40)



端部プレート図 S=1/20(40)



鋼材 R加工詳細図



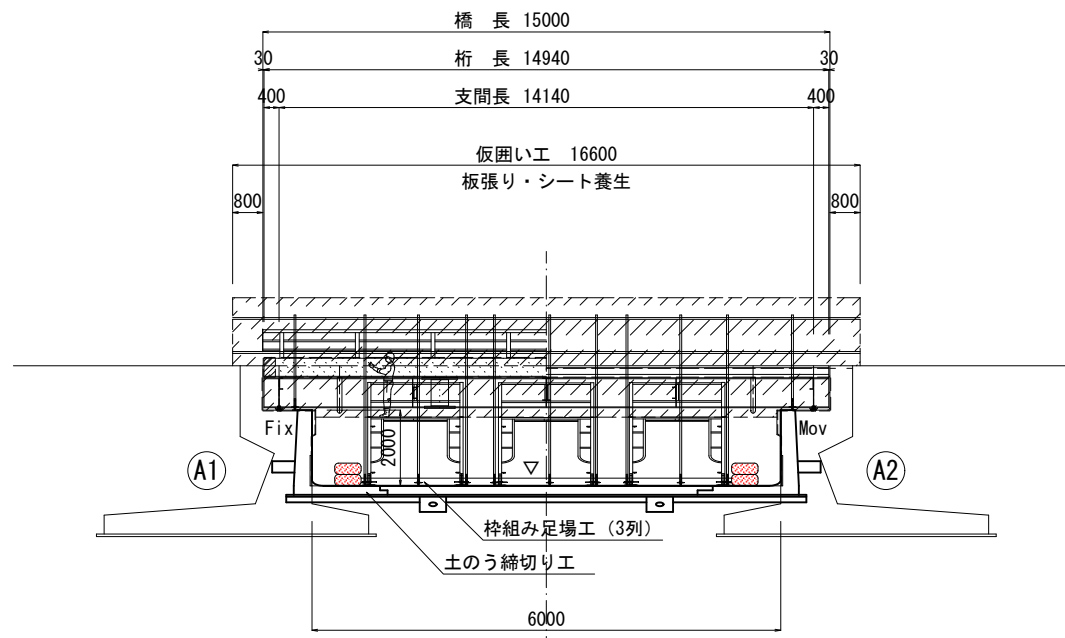
年 度	令 和 7 年 度
工 事 名	令和6年度 津軽かんぱい5号橋橋梁補修工事
路 線 名	市道 一町田・竜ノ口線
施工箇所	弘前市大字 龍ノ口 地内
図面名称	補修対策仮設工参考図
縮 尺	図 示
図面番号	1 6 葉 1 6

弘 前 市 建 設 部 土 木 課

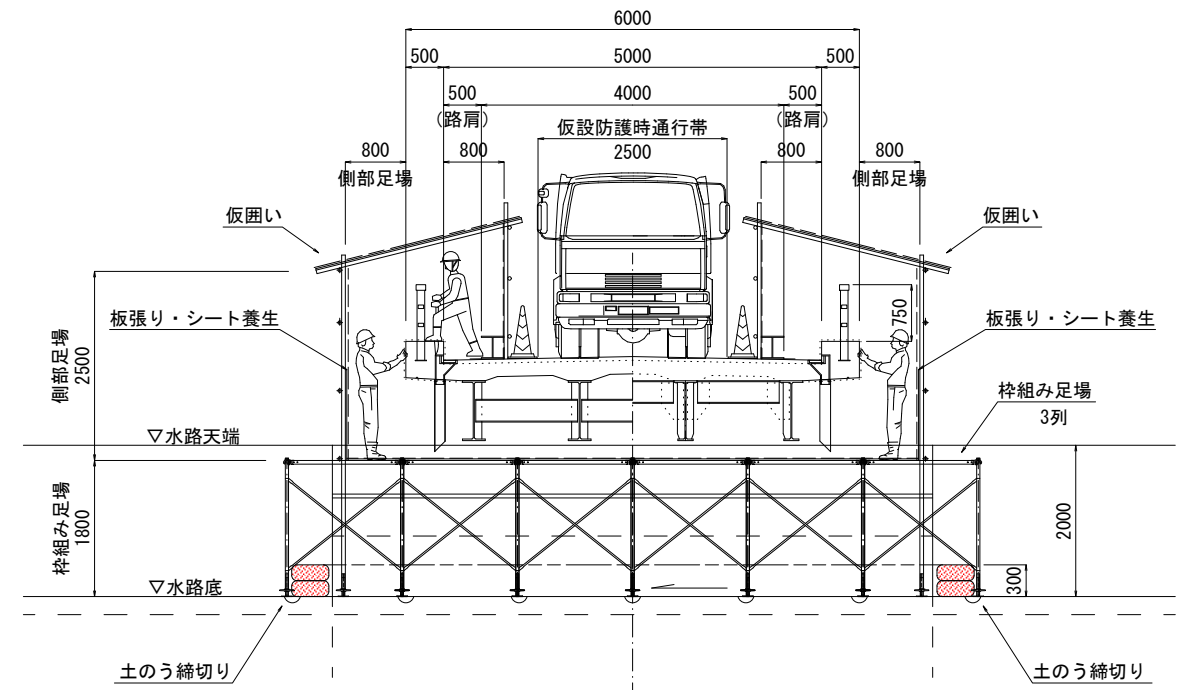
※()内の縮尺は、A3判縮小図を表す。

津軽かんぱい5号橋 補修対策仮設工参考図

側 面 図 S=1/100 (200)



断 面 図 S=1/50 (100)



平 面 図 S=1/100 (200)

